新京日日新聞　夕刊　三月二十五日

本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓 ／ 廣告料金 普通一行 壹圓五拾錢 特別一行 貳圓五拾錢

發行所 新京永樂町四ノ二 新京日日新聞社 電話 編輯局專用③三一二五 營業局專用③三一二〇

發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越内之介

贛江上流の敵大舟隊 急遽南下を開始

奉新 固安以西已に敵影なし

【〇〇廿四日發國通】わが航空部隊は延機數八十機修水南方第一線步兵部隊に協力し、退却中の敵軍に徹底的銃爆撃を加へ〇機は指揮連絡の任務に活躍したが、廿四日午後三時半より約一時間の偵察による敵狀は　江上流臨江から固安に向つて北進中の敵大舟隊がその中間の黃沙崗に於て突如頭を回して周章反轉再び南下を開始した、修水より奉新、固安以西には全然敵影を認めなかつた

各所に激戰を展開

第一線、武寧に肉薄

【陣庄廿四日發國通】武寧攻擊のわが岩崎、高木、宮脇、江島部隊の陣庄附近における戰鬪は激烈を極め去る二十日戰鬪開始後二十四日現在まで夜を日について寸刻の休む間もなく廣濟、田家鎮以上の激戰を隨所に演じつゝある、戰鬪地區は箬溪西方四里の陣庄を中心に南は修水河畔から北は張林公、望腦巳、山間の丘陵地帶で、敵が長沙防衛の要衝と恃む武寧の主陣地であり敵は第三、七十四の中央直系軍、第十五、四十二師の傍系軍の四個師で更に新部隊が續々後方に集結しつゝあり、丘陵起伏し天然の要害である地形を利し頑強無比の抵抗を試みてゐる、去る廿一日張林公南麓の王庄では岩崎部隊長以下全員腰まで埋つて折柄の雨に全身ズブ濡れになり左右兩方の山腹に布陣する敵と激戰一時間二十分に亘り漸くこれを蹴散らした、去る廿二日には陣庄西南二キロ加白老の激戰で午前十時江島虎男部隊長（熊本縣出身）は身に三彈を受け名譽の負傷を負へば僅か一時間後に同地點西方一キロの高地で高木環部隊長（大分縣）も負傷、更に廿三日には宮脇部隊長が戰死するといふ全員血みどろの猛鬪を續けてゐる、江島、高木兩部隊長は一歩も退かず最前線にて指揮を續け將士の士氣は武寧縣城を望んで軒昂たるものがある

棺材山の敵潰走

【〇〇廿四日發國通】武寧北方棺材山の要害に據りわれに抵抗せる敵は第十五、七十七の兩師およそ三千であつたがわが軍の猛攻に堪へかね死體六百を遺棄して潰走、わが軍はチエコ機銃六、小銃二百、同彈藥八千、機銃彈三百、そのほか軍需品多數を鹵獲した

陸鷲、蘭州飛行場を粉砕（軍貸下げ）

海鷲南支各地を爆擊

【上海廿四日發國通】艦隊報道部廿四日午後四時發表

△南支方面

一、泉州（福建省）攻擊部隊は同港内にありし軍用舟艇十五隻及び晋江岸荷揚場附近の建物二棟をはじめ道路上の軍用トラック九臺を重爆擊したるほか興化附近に碇泊中の汽船一隻及び洛陽江岸の倉庫群を爆破し何れもこれに多大の損害を與へたり

二、黑河を襲擊せる部隊は冠頭角砲臺附近に蟠居せる敵兵を爆擊せり

三、連州攻擊部隊は城内外の軍事施設を猛爆これに大損害を與へたり

吳城鎮完全占領

陸海兩軍感激の握手

【上海廿四日發國通】艦隊報道部廿四日午後四時發表＝海軍陸戰隊は廿四日午前十時吳城鎮を完全占領せり

【〇〇廿四日發國通】海軍陸戰隊は廿四日午前十時吳城鎮を完全占領したが、これに先立ち九時四十分陸軍〇〇部隊と完全な連絡を完成、兩部隊先鋒勇士は感激の握手を交した

海軍部隊の活躍

【上海廿四日發國通】艦隊報道部廿四日午後四時發表＝中支方面戰況＝鄱陽湖方面の敗殘支那軍は吳城鎮に嚴重なる防備を施してこれを根據として遊擊戰法を以て蠢動しつゝありしがわが海軍江上艦艇は去る十八日以來頑強なる敵の抵抗を排擊しつゝ機雷原を強行突破し或は猛烈なる彈雨を冒して水路啓開を敢行、吳城鎮前面に進出、附近一帶の敵を攻擊掃驅せり、それに策應して江上艦艇掩護の下に某地點に敵前上陸を敢行せる海軍陸戰隊は爾來惡天候を冒し所在の敵を驅逐追擊し、廿三日遂に吳城鎮に突入、引續き市内を掃蕩戰果擴大中なり、なほ本作戰に協力せる海軍航空隊の精銳は連日に亘り地上及び江上部隊前面の敵陣地據點及び吳城鎮を反復爆砕し甚大なる戰果を收めたり

陸鷲、山西地區に活躍

【北京廿五日發國通】阿部部隊の水崎隊〇機は廿四日千葉部隊の陽穀附近討伐に協力石門莊附近に於て東方に敗走するゝ約七百の敵を發見、之に爆擊を加へ多大の損害を與へた又同部隊岡本隊の〇〇機は同日勇縣任邱附近の偵察に向ひ午前十一時卅分數百の敵が集結南下しつゝあるに對し對地射擊を敢行多大の損害を與へた

冀中地區掃蕩戰

【濟南廿四日發國通】魯北警備のわが軍は過般冀中討伐に四分五裂となつた鹿鍾麟系の殘匪を徹底的に掃蕩しつゝある

一、澁谷討伐隊は廿一、廿二日の兩日に亘り臨淸南方十一キロの孟庄に蟠居する迫擊砲、チエコ機銃を有する胡和道その他の合流匪二千を寡兵をもつて猛攻、森本部隊の協力の下にこれを擊破した、敵遺棄死體八十

二、千葉部隊は廿一日早朝東昌南方三キロにある鹿鍾麟系の匪八百を猛擊、潰滅し同地を占領した、敵の遺棄死體五百餘、鹵獲品小銃二百五十、輕機五、彈藥二萬、手榴彈一千四百、其他多數

三、吉井部隊は廿一日東昌東南方の蔭柳科の敵五百を擊破、潰走せしめた、敵の遺棄死體二十三

新嘉坡近海に 怪潛水艦出沒

極東廻航中のソ聯艦

【シンガポール二十四日發國通】シンガポール近海に國籍不明の潛水艦出沒しつゝありとの情報に接した英國飛行隊は空軍基地の兵力を總動員して數日來近海を搜索中であつたが最近やうやくその所在をつきとめたといはれる、但し英國官邊では該潛水艦の所屬國籍を嚴秘に附してゐるが廿四日信頼すべき筋よりの消息によれば右は歐洲ロシアよりウラヂオに向け廻航中のソヴイエト海軍のエル型潛水艦二隻なることが判明した、從來しばしば傳へられた外國潛水艦のシンガポール近海航行の風聞も今回の事實に鑑み何れもソヴイエト潛水艦であつたことが推定され歐洲ロシア方面よりシンガポール經由極東に廻航された隻數もすでに相當數に上つてゐるものとみられる

馮水渡河に成功

更に東進、敵を壓迫中

【〇〇基地廿四日發國通】わが陸軍飛行隊の偵察によれば廿四日午後四時頃有力なるわが精銳部隊は極めて困難なる狀況を克服して馮水渡河に成功、さらに東進し江夏南方地區の敵軍を逐次壓迫中である

奉新の敗敵混亂

【奉新廿四日發國通】修水上流對岸の六個師凡そ六萬の敵兵團はわが軍の神速果敢なる追擊により退路を完全に遮斷され、鳳凰山、印子山（修水南方二里）の線より頽勢を挽回する暇もなく西方山岳地帶に雪崩を打つて潰走收拾つかざる大混亂に陥つてゐる

廿三日までに敵に與へた損害遺棄死體一千、鹵獲重砲二、山砲六、水冷式機關銃十、チエコ機銃卅、捕虜四百、彈藥數萬、米（奉新に於て）千俵

衆議院本會議

【東京國通】廿四日の衆議院本會議は午後一時四十七分開會

一、刑事訴訟法中改正法律案ほか議員提出法律案三件を可決、更に

一、水產時局對策確立に關する建議案ほか四建議案を可決、最後に政府提出の

一、郵便年金法中改正法案を可決成立せしめ、これを以て政府提出の諸法律案に關する衆議院の審議全部を終了して三時卅五分散會

獨のチエコ併合に 張總理祝意

ヒ總統の偉業を讃ふ

過般のドイツのチエコ併合に關し廿四日の觀賀宴に於ける挨拶に於て張國務總理はこの點に言及、ヒトラー總統の偉業を讃へドイツが「一躍國力を增進し歐洲新秩序の建設に更に一歩を進めた」ことに對し友邦としての祝意を表したことは政府最初の意思表示として注目すべきである

上海郵船倉庫の怪火

總領事館も類燒

抗日分子の放火か

【上海廿五日發國通】廿四日午後十一時頃虹口黃浦路郵船倉庫より發火し火は見る見るうちに煉瓦造り六階建の同倉庫をなめ盡し一時同は南隣の我總領事館警察に延燒、急報により租界警察消防隊、憲兵隊等が現場に出動、必死の消火作業に努めた結果午前零時五十分頃に至り一旦下火となつたが、三時頃再び火勢猛烈となり總領事館警察を殆んど全燒、更に道一つ隔てた南側の總領事館本館に燃移り同館の一部を燒いて漸く鎮火した、本館の被害は極めて輕微の模樣で、奉安の御眞影は加藤領事が捧持して無事中部小學校に移し奉つた、又全燒した領事館警察の主要書類も全部搬出した模樣なほ出火の原因については抗日分子の計畫的放火と斷定するほかなしとされ三浦總領事、陸軍慶田大佐、海軍光延中佐、憲兵隊五十嵐中佐、工部局赤木副總監等は直ちに總領事館内で緊急會議を催し善後策につき協議を行つた

貴院本會議

【東京國通】貴族院本會議は午後一時四十五分再開、長野忠次氏（研究）大陸資源の開發、航空路の開拓、輸出振興問題について質した後討論に入り

松井茂氏（同和）長期建設體制確立には治安の確保が第一義である、過般の上海テロ事件、更に防共問題に對處するには單に國内のみならず國際警察の機能を發揮せねばならぬときに立至つてゐる、政府はまづ警察組織を改正して首相の下に内外地を一貫した警察命令系統を樹立し非常警備組織を全國に整備すべきである、又警察官優遇の途を講じられたい、自分は政府がこれ等の諸施設を實行せられるものと期待してゐる

と贊成意見を述べこれにて討論終り、採決の結果委員長報告通り可決、茲に一億九千九百餘圓に上る明年度軍事費追加豫算案は成立した、かくて明年度本豫算各特別會計豫算第一號追加豫算、臨時軍事費豫算共に昭和十四年度豫算は全部成立を見た譯であるがかくて更に職員健康保險法案外七件を可決して四時廿分散會

人事往來

着京

▲古澤嘉作氏（會社員）二十四日來京ヤマトホテル
▲田村辛三氏（同）同
▲井上良治氏（同）同
▲山崎靖純氏（同）同
▲南治之助氏（日滿商事常務）國都ホテル
▲島村善次郎氏（會社員）同
▲米田勇氏（商業）同
▲石塚重雄氏（機械商）同
▲松尾國治氏（奉天紡紗廠）同
▲沼田梧一氏（官吏）同
▲小杉德太郎氏（商業）同
▲大槻信治氏（岡上鑛業）同
▲藤崎忠衛氏（滿洲畜產）同
▲尾彤敏氏（會社員）同
▲若林秀一郎氏（銀行員）滿蒙ホテル
▲渡邊謙一郎氏（會社員）同
▲吉田三郎氏（昭和製鋼）同
▲中谷國之助氏（日本棉花）同
▲佐藤謙六氏（東洋タイヤ工業）同
▲岡田章秀氏（銀行員）同
▲秋山謙氏（同）同
▲片山義勝氏（辯護士）同
▲本川登氏（會社員）ニューアジアホテル
▲小林和介氏（官吏）大都ホテル
▲吉岡新太郎氏（商業）同
▲坂本登氏（同）同
▲島津半助氏（機械商）同
▲矢澤正尚氏（會社員）同
▲井原政二氏（滿鐵社員）同
▲竹村富二氏（官吏）同
▲谷本明次氏（會社員）同
▲丹羽利男（滿鐵社員）同
▲野田儉二氏（官吏）都ホテル
▲西脇平吉郎氏（商業）同
▲岡崎忠勝氏（同）同
▲加村清八氏（請負業）帝都ホテル

出發

▲畑惣之助氏 廿四日大連へ
▲中山三郎氏 鞍山へ
▲岡田實氏 奉天へ
▲奥村四郎氏 鞍山へ
▲桐原眞一氏 大阪へ
▲中西正雄氏 奉天へ
▲山地某逸氏 大連へ
▲窪田清市氏 神戸へ
▲能登谷久松氏 鞍山へ
▲三浦源七氏 同
▲鈴木信一氏 大連へ
▲栗原百松氏 同
▲山口外二氏 奉天へ
▲山西喜次郎氏 哈市へ
▲澁谷清一氏 奉天へ
▲新井靜二郎氏 同
▲富永順太郎氏 哈市へ
▲菊地力男氏 奉天へ
▲川江義雄氏 哈市へ
▲山田元吉氏 大連へ
▲大家福市氏 吉林へ
▲不破利輔氏 東京へ
▲松本龍氏 奉天へ
▲有近彌榮氏 同
▲山田覺氏 京城へ
▲山成豐氏 鞍山へ

その日く

□ 進む戰線のニュースに、不祥事の記事を對比して感ずること多し

□ 自粛は何處へ、自戒は何處へ、指導者たるべくしてこの現實は悲哀

□ 吏道榮え特殊會社が榮える反面に、かんじんたものゝ缺乏せるを想ふ

□ 文官試驗の前に、退職手當計算の前に、もつと考へ、惱むべきものがあらう

□ 砂をまき吹きおこる風にこの國に、春來れりと告げゆくものか

物資節約 こんな手もある!

街頭の時局對策、物資節約の國策線にそつてこんな手もある、所は市內新發路五十嵐ビルの街路に面した一階飾窓、二米四方もあるウインド・ガラスが何かのはづみで割れてしまつたので、早速とりかへるのかと思つてゐると斜めに裂けた割目を利用して寫眞の通り裝飾の一部に巧くカモフラージュしてしまつた、ペンキ代塗賃共に五圓とみてもガラス一枚代は時價百圓だから、一寸の機轉で取換へる以上の効果を上げて九十五圓浮かしてゐる

郵便配達夫は盲目も同然?
念の入過ぎる誤配
眞ン前の中央通署にまで 日に平均二十餘通

最近に至つて新京市內郵便物の誤配は甚だしく一般の非難囂々たるものがあるが中央郵政局の眞ン前である中央通署直轄に誤配される郵便物は一日平均廿餘通に上り盜難手配等でさらでだに忙しい署員をカン／＼に怒らせてゐる、誤配郵便物の主なものは市立保健所宛のもの、蓬萊ホテル宛のもの、發明局宛のもの等であるが、中には艶かしい文字で大同大街某會社員宛の着色封筒などとんでもないものが舞ひ込む一方、中央通署宛の公文書が鐵道北某家に配達され、何の氣なしに封を切つた同家では慌て直轄に屆け出た等のことがあり、中央通署では配達の正確について何等かの方法を講ずるやう郵政局に對して警告する筈である

日本人女中不足なら代用品を作らう
職業紹介所、滿人教育に乘出す

特別市立職業紹介所では拂底せる女中不足に對應し滿人婦女に簡單な日本人生活樣式を教へ、日人女中さんの代用品を製造し各家庭に送り込むべく計畫中であるが更に女中につぎ不足を告げてゐる官廳會社、商店等下級事務員にも日人代用品を製造すべく計畫を進めてゐる、程度は優級學校中等學校出の滿人青年で短期間日語を始め算盤その他簡單な事務的作業を仕込み大量送り出さうといふものであるが市當局と交渉の上具體的に纏めることとなつてゐる、なほ最近國都の勤め人は腰が落ちつかず轉々と職を變へるものが激增してゐる憂慮すべき狀に鑑み、職業に對する求職者の適性を考慮し量より質への就職方針をとり人物經濟の萬全を期することとなつてゐるが、慢性的日本人不足に對し求人大量申込みは出來るだけ避ける方針をとつてゐる

兒玉公園メリーゴーランド 愈よ解放

國都唯一の子供の樂天地としての施設を整へることになつた兒玉公園は本年度に於て子供の各種遊戲器具を備へる筈であるが昨年來好評を博してゐるメリーゴーランドは修繕塗裝等を終り次の日曜日頃から使用を開始する豫定である

金塊を密輸 城內金商店員捕る

首都警察廳司法科では最近城內方面の金商中金塊の密輸を行つてゐるものがあるとの聞込みを得て內偵中であつたが圖らずも廿四日午前八時十五分新京着列車で下車した乘客中擧動不審の滿人一青年を折柄張込み警戒中の捜査股車刑事が發見取調べたところ內ポケットから金の延棒三本(時價六千圓)を發見した、直ちに身柄拘束目下嚴重追及中であるがこの男は市內四馬路某金商店員陳海德(一八)といひ奉天方面に出張してゐたもので取調べの進展と共に金密輸の以外な事實が暴露するものと注目されてゐる

馬車夫、寫眞機を猫婆

二十四日午後九時ごろ、中央通署財前、張兩刑事が滿人質屋を臨檢中、子供連れで小型寫眞機を入質に來た滿人の擧動に不審の點があるので本署に連行、取調べたところ、同人は吉林省生れ、市內東四道街文化胡同六號居住馬車夫王金(三四)で、昨年九月中旬市內祝町消防署東側から興安大路蘭花莊まで乘車した乘客が車內に置き忘れた寫眞機を拾得橫領して入質しようとしたことを自白、留置して引續き取調べ中であるが、寫眞機はブローニー半截、ツアイスイコン製レンズノヴアー四・五で落し主は中央通署刑事室まで申し出られ度いと

夫の目を盜んで

間島省延吉縣圖們街康德庄文鳳作氏の妻女李賢淑は夫の目を盜んで昨年十二月ごろより同區居住の李鶴松(三三)と醜交關係を續けてゐたが去る十八日手に手を取つて新京に馳け落ち、市內に潛伏の模樣夫からの捜査願により各署で手配捜査中

"武道と禪"講演

先づ腹を据ゑてかゝれと協和會首都本部の提唱に依り駒澤大學教授澤木興道氏の坐禪會は新京商業武道場に於て擧行され、非常な好評であるが、武道會新京支部でも同氏を聘し二十五日午後七時より九時迄二時間に亘り新京商業學校道場で「武道と禪」に關し講演と實際坐禪について指導を受けることゝなつた、會員多數の出席を希望してゐる

在支難民五十名 憧れの樂土歸還
協和會斡旋で けふ北京を出發

滿洲事變當時戰禍を避け北支にのがれた滿洲住民は約四十萬と稱せられその中二十萬は學良と共に西安方面に、二十萬人は河北省方面に落ちつき平和な時期到來を待ち吉林、奉天、黑龍に住んでゐたこれ等の難民等は、自衞手段として三會館を組織し自給を營んで來たがその後滿洲國の發展に伴ひ王道の慈光が彼等の上に優しく差しのべられ、昨年七月協和會の斡旋でこれ等難民中百六十三名が滿洲國に歸還し現在各地に安住してゐるが更に本年第二次約五十名の在支難民歸還輔導をなすこととなり、中央本部輔導部石富山田兩職員が北支に赴き交渉中であるが二十五日一行をつれて北京を出發新京に向ふことゝなつた

西廣場俱樂部內に鄉土室

滿鐵新京社員俱樂部では在京社員並に家族のため西廣場俱樂部內に鄉土室を設け全國出身各縣の新聞紙數種を備へ、一般に縱覽させることになり準備を整へてゐる

三上和志氏講演

滿鐵新京支社福祉係主催一燈園三上和志氏の講演は二十九日午後八時から白菊俱樂部で開催されるが演題は「健全な身衣を着て」一般多數來場を歡迎すると

新京汽罐士協會 けふ華々しく發會

既報、煤煙防止の突擊部隊としてかねて煤煙防止委員會の斡旋により設立計畫中であつた新京汽罐士協會は愈よ諸般の準備なつて二十五日午後一時より首都警察廳講堂に於て關係各機關及び會員百餘名參列の下に華々しく發會式を擧行した、式は設立經過報告に次いで村川市公署衞生處長の祝辭、牧野首警建築工場科長の挨拶あり斯界の權威者現國立大學鑛工技術院教授兼大陸科學院研究官山崎喜一郞氏の講演並びに映畫あつて午後三時盛會裡に終了したが同協會は今日都市の衞生並に美觀上尠からず影響を及ぼしてゐる煤煙問題及び非常時下燃料資源の重要性益す加重し燃料節約を叫ばれる時局に鑑み、汽罐並にこれが焚燒上に萬全を期せんとするもので協會今後の活動は汽罐の設置せらるゝ家屋が逐年增加しつゝある國都の現狀から見て頗る期待されてゐる【寫眞は發會式】

遭難遂に確認さる!

遭難して中華航空公司機は其の後遭難地點が小平島附近ではないかとの觀測の下に同地點を中心として捜査に當つたところ午後六時頃に至り遂に小平島東寄り佛門寺屯地先二十間の海中に同機の遭難を確認した【寫眞は遭難を確認せる地點の捜査隊(上)と遭難者のオーバーを發見引揚げる捜査隊】

最後の御奉公として大いに努力
大村滿鐵新總裁語る

松岡總裁のあとを追つて滿鐵總裁に就任した大村新總裁は次の如く語る

松岡總裁にはどうしても殘つて戴きたいと最後までお願ひしたが、どうしても聞入れて戴けず、遂に私がこの大任を引受けるやうになつた、滿鐵は松岡總裁の指導によつて今日の隆昌を見るに至つたので、私が總裁となつたとて滿鐵の行き方に變りはない、世の中の動きに應じて將來とも會社の動向を決めて行くことはなか／＼むづかしいことである、自分は再三辭退したのだが、いよ／＼總裁に就任となつた以上は自分も最後の御奉公として大いに努力するつもりです

と老いて益々元氣旺んなところを見せてゐた、なほ氏は關東軍司令部をはじめ國都日滿關係機關に挨拶のため二十六日午後五時二十分着あじあで來京する

佐藤新副總裁抱負を語る

大村副總裁の後任として副總裁に昇格した理事佐藤應次郎氏は滿鐵生え拔きの人、滿鐵としては社員から理事副總裁と昇格して行つた人は佐藤氏をもつて嚆矢とし、社員の羨望の的となつてゐるが同氏を訪へば流石あの巨體にゆつたりとした喜びを包んで

政府では松岡總裁の後任として開拓、鐵道の第一人者として私達の尊敬する大村さんを推擧した、大村さんの後任として自分は副總裁になつたが、副總裁となつても別に變つたこともなく、大村さんの方針に從つて從來通りやつて行くつもりだ、社員から初めての副總裁だといふのか……それは今迄の滿鐵が總裁以下が內地から就任してゐるのが今度は大村さんがはじめて滿鐵の內部から昇格したまでのことで佐々木副總裁が鐵道以外の全部門を擔當し、私が鐵道一般を受持つので今までの總局次長は今度はなくなり自分が今迄通りのことをやる、副總裁に就任したからには自分の全精力を打込んでやつてみたい

傳染病保菌者、お客さんの前へ
危險!接客業者に光る眼

傳染病豫防の完璧を期して首都警察廳衞生科防疫股では管下接客業者一萬六千名に對し去る二月二十二日より檢便を實施、保菌の有無について衞生科試驗室で調査中であるが現在まで約二千名の檢便を終つた結果、圖らずも左の如く廿四日三名、廿五日一名計四名の保菌者を發見、直ちに千早醫院に收容隔離した、尙檢便と共に今後これ等保菌者を多數發見されるものと豫想され同科では來るべき傳染病流行期に備へるべく萬全を期してゐる、千早醫院に收容隔離した保菌者は次の如くである

△パラチブス 露天市場四五居住王萬純(七一)
△赤痢 永昌路五〇二油谷ツネ(四一)
△パラチブス 長通路四五陳天寶(四一)
△腸チブス 大和通一三郝長泰(五八)

學年末休み
中等學校あすから一齊に

入學試驗、學年末試驗と慌ただしい三學期を送つた新京市內日本側男女中等學校では二十五日一齊に本學年度最後の終業式を擧行、無事に進級し得た喜びに躍る生徒達は二十六日から四月四日まで、學年末休暇を迎へることになつた、試驗休みとも言はれ窮苦しい試驗から開放される十日間であり、新學期への準備の十日間である

體育聯盟理事會

體育聯盟新京事務局理事會は二十八日午後二時より市公署會議室で開催、康德五年度事業報告決算報告、並に康德六年度事業計畫同豫算案について協議を遂げることとなつた

三小學校卒業式

市內室町、西廣場、白菊の三小學校では廿五日午前十時から各校講堂に於いて本年度卒業證書授與式を擧行した

選拔中等野球組合せ決定

【大阪國通】第十六回全國選拔中等野球大會は廿六日から八日間甲子園球場で擧行されるが、その組合せは廿四日左の如く決定した

▽第一回戰(第一日二十六日)中京商業對海草中學、德島商業對栃木商業(第二日廿七日)浪花商業對東邦商業
▽第二回戰 小倉工業對大津商業、熊本工業對桐生中學(第三日廿八日)高松商業對平安中學、北神商業對淺野工業、下關商業對岐阜商業(第四日廿九日)吳港中學—島田商業、日大三中—海南中學の勝者對浪速商業—東邦商業の勝者、中京商業—海草中學の勝者對栃木商業—德島商業の勝者

直木新參議來社

新任參議府參議工學博士直木倫太郎氏は廿五日挨拶に來社

九臺縣立病院開業

昨年八月約十萬圓の豫算を以て起工に係る九臺縣立病院は工事竣功し諸準備なり內科、外科婦人科、耳鼻咽喉科、齒科に夫々三木院長はじめ著名の專門醫を迎へ愈よ四月初旬開業の豫定であるが、同病院は風光明媚の地にあり靜養上好適地なるを以て新京其他の都市よりも多數來患の見込である

日本基督教會

一、日曜學校 午前九時半
一、聖書學校 午前九時四十分
一、朝の禮拜午前十時四十分 說教「神建て給ふに非ずば」石川牧師
一、夕拜 午後八時 說教「神の御靈に導かるもの」石川牧師

メソヂスト教會

一、日曜學校 午前九時半
一、日曜禮拜 午前十時半 說教「神意と人意」山口牧師

日の出を拜す集ひ

あす(日曜日)新京日出時刻六時三十四分、兒玉公園誠忠碑前早起會、右終つて忠塔靈參拜

あす(廿六日)

▲松岡、大村滿鐵新舊總裁來京 午後五時二十分
▲滿鐵撫順新京〇〇舞踊と音樂會 於西廣場俱樂部正午より
▲新京俱樂部練習開始
▲川畑ふみ子一行公演 午後六時於記念公會堂
▲鄉軍第一分會役員會 午後七時於記念公會堂
▲醫師會 於記念公會堂

今晩の主なる放送

▲七・三〇國民歌謠(東京)
▲七・四〇講演(新京)松岡三雄
▲八・〇〇歌謠曲(大連)東海林太郎
▲九・〇〇掛合義太夫「義經千本櫻」(大阪)竹本綾助外

半島映畫「沈情」と「なつかしみ團」
長春座、銀キネ寫眞替り

長春座と銀座キネマけふから寫眞替り、長春座には「權太の小判」「女こそ家を守れ」の松竹番組に半島映畫「沈情」が加はつて三本立、銀キネの方には大都特作品「天下の副將軍」同「山中小唄」にアトラクシヨン「なつかしみ團」が加はる

異色あるものとして「沈情」があるが、これは朝鮮映畫祭において第一位に入選した作品で半島映畫隨一の名星と言はれてゐる金素英の主演するものである、親のために一命を捧げた純情な乙女の悲劇を半島固有の風俗と美事な背景の中に收めたもの、日本字幕が挿入せられてゐるといふから在來の此の種のものより觀賞大衆の層は廣く求められやう「權太の小判」は川浪良太郎主演に久松三津枝、山路義人、坪井哲等が助演する星哲六の監督作品、旅の風來坊栗毛の權太の〻戀と劍〻を豐富に盛り込んだ大衆物といふに止まる、「女こそ家を守れ」は大船の新人島津保次郎門下吉村公三郎の第二回監督作品である、原作を竹田敏彦により野田高梧の脚色を得て描くは應召により喧嘩分れをしてゐた父子が和解するといふ新奇のないストオリイだが、新進の名において一應期待すべき作品であらう、坪内美子、三浦光子、坂本武、日守新一、笠智衆等が共演してゐる

銀キネの「なつかしみ團」は可愛いゝ少女組の唄と踊りにジヤズ演奏を加へたラウンドシヨウ、「天下の副將軍」は阿部九州男、松山宗三郎、杉山昌三九の主演するお馴染み水戸黄門漫遊記、前後篇を同時上映する、他一本の「山中小唄」は中野英治、琴糸路の共演もの

生田流邦樂演奏
今夕六時、西廣場倶樂部で

生田流邦樂演奏會は錦友會主催により二十五日午後六時より西廣場滿鐵社員倶樂部において開催されるがプログラムは左の通りである(入場無料)

一、松の壽(在原勾當作曲)【三絃】松田綾子、和田駁子、田川初子、柴田武子、村井敦子、二方栢香、田口藤枝、【尺八】北澤舲山、後藤翁山、笹井眷山、中田朔山、渡上廟山、加藤都習川、合都唐、佐藤洸舲【箏】大西美枝子、嵯峨延子、藤記愛子、高倉照子、宮田節子、山崎智惠子、高橋靖子、秋永フミ子、川崎泰代、齋藤滿佐子、中島千代子、高倉シゲ子、澤井光枝、泉谷秀子、山崎禮子

二、イ、小鳩ロ、朝の雪、晝の雪、晩の雪ハ、キユーピーさん(宮城道雄作曲)【箏】泉谷秀子、渡邊澄子、南悦子、荒川佐智子、松田富士子、東順子、早瀬ふみ子、平松てつ子

三、六段、(北島検校作曲)【尺八】平井江童、山本立童、白賀可童、依田直造、平林員衛、【箏】高倉照子、泉谷秀子、川崎泰代、高倉シゲ子、植尾常子、三谷サダ子、渡邊澄子、高橋靖子、南悦子、荒川佐智子、山内惠美、藤記愛子、【三絃】田川初子、村井敦子、二方栢香、田口藤枝

四、三の景色【尺八】後藤翁山、中田朔山、笹井眷山、渡上廟山、平井恭山、【箏本手】三谷操錦、秋永フミ子、高倉照子、宮田範子、山崎智惠子、川崎泰代、齋藤滿佐子、中島千代子【替手】高松濤子、嵯峨延子

五、雛まつり(宮城道雄作曲)【舞踊】大森章子、大森順子、早川和子、岡田明子、大沼多美子、井上和代、早良富美子、土井佐喜子、高橋冷子、中島恭子、【箏本手】高倉シゲ子、植尾常子、三谷サダ子、渡邊澄子、山崎禮子、南悦子、荒川佐智子、東順子、山内惠美、松田富士子、高橋靖子、早瀬ふみ子、平松てつ子、【替手】高松濤子、泉谷秀子、

六、青柳(石川勾當作曲)【尺八】秋元篠山、北澤舲山、【箏】菊水秀芳、【三絃】松田綾子、大西美枝子

七、舞鈔曲(宮城道雄作曲)【箏一部】松田綾子、【同二部】高松濤子、嵯峨延子、【同三部】村井敦子、柴田武子、宮田節子、山崎智惠子、【同二部】藤記愛子、大西美枝子、泉谷秀子、和田駁子、秋永フミ子、齋藤滿佐子

八、吾妻獅子(峰崎勾當作曲)【尺八】吉田聖童、富田晶童、黒瀨藤輔【三絃】三谷操錦、松田綾子、和田駁子、大西美枝子、田川初子、柴田武子

九、鶴の聲(玉岡検校作曲)【舞踊】飯田喜美子、井上和代、高倉シゲ子、永谷初子【尺八】吉田聖童、平井江童、山本立童、白賀可童、依田直造、平林員衛【箏】植尾常子、三谷サダ子、渡邊澄子、南悦子、荒川佐智子、山崎禮子、【三絃】田川初子、高橋靖子、二方栢香、泉谷秀子、田口藤枝、

十、松竹梅(三津橋勾當作曲)

【尺八】山本饒山、中村孜山、橋口庶山、所崎鶴山、【箏】菊水秀芳、藤記愛子、村井敦子、嵯峨延子、秋永フミ子、和田駁子、柴田武子、泉谷秀子、【三絃】三谷操錦、松田綾子、大西美枝子、田川初子、【胡弓】鹽田大勾當

十一、イ、日の丸の旗ロ、ハトポッポハ、赤い牛の子ニ、ワンワンニヤオニヤオ(宮城道雄作曲)【箏】藤記愛子、村井敦子、【唄】荒川佐智子、南悦子、東順子

十二、高麗の春(宮城道雄作曲)【尺八】鹽田蘆風、山下無風、【箏】藤記愛子、村井敦子、松田綾子、【三絃】三谷操錦

仙人掌

小僧が店先に水を撒いてるところへ通りかゞつた熊さん、とばつちりをかけられて腹をたてゝると、御隱居がそれを宥めて、夕立にあつて濡れたとしたらどうする、喧嘩にやならないだらう、これを天災といふ、小僧に水をかけられたと思つたら腹がたつだらうが、雨に濡れたと思つて我慢するんだ、天災だ、避けられないのが天災だ、天災だと思つてあきらめなッて、あの落語を聽いて來た藝術家の豆千代、なるほど天災だと思つてあきらめたら腹がたゝないと悟つてしまひ、爾來氣に喰はぬお客に聘ばれても天災だとあきらめ おなかがすいたと明菓へフレンチトーストを注文しやうとしたが夜中でだめ、喰べたいと思つたものがだめとなると腹がたつけれども、これも天災か、もと〱明菓の店が無かつたものとあきらめてしまふ、お德部隊長から、豆千代さんなにグズ〱してんの、早く仕度くをッとお座敷に出る催促されても、お聽ねえさんがやかましく云ふと思つたら腹がたつけれど、これも天災だらう、ラジオのニユースが始まつたと思つたら腹もたゝない……と何でもかんでも天災にしちやつて、至つて朗らかな妓になつた、從つて如何に嬲られても、ブーとふくれちやつたり、無言の行をつゞけるやうなことがなくなつたさうです

雜音

帝都キネマの「ジヤンバルジヤン」「はたらく一家」は量あるプロではあるが内容題名ヴアリユウともに一つ地味な點を辭めず初日は平調な客足▼「ジヤンバルジヤン」は「レミゼラブル」三部曲廿六巻の第一部を形成するもの、ユーゴー原作の發端から自ら市長の要職を抛つてコゼツトを迎へに馬車を走らしてゆくまでを收めた十巻▼二部三部を見とほさないことにはこの老大なメロドラマ映畫の全貌を知ることは出來ないがレエモンド・ベルナールの演出はこの第一部においては極めて原作に忠實である、丹念に原作を傳へることに努力してゐる▼然しながら今日われ〱がこの映畫をみてベルナールの努力に反應することは困難であり苦痛である、これはユーゴー原作そのものに對するわれ〱の氣持と同斷であり、後編二、三部に對しても到底われ〱の觀賞慾は第一部以上に沸き立ちさうには思はれない▼ジヤンバルジヤンに扮するアリ・ボールの映畫の内容に相應した大芝居があり、ベルナールの注いだ努力は認め得ても、これらの結果が今日においては既に少からずその意義を失つてゐることに氣づくであらう

日曜 壬戌 先勝 危 星宿　三月廿六日　二月六日

東京・本郷・神誠館

●一白の人 駈引きの思ふやうに成らぬ日愼重なるべし南と北と西が吉
●二黑の人 射倖心を去り何事にも誠意を以て進むべし東と巳と北が吉
●三碧の人 我意は通さず人を容れ人にも容れらるべし壬と東と西が吉
●四綠の人 一苦去りたりとても萬事油斷あるべからず巽と壬と乾が吉
●五黃の人 強ひて事を用ふるときは失敗す常業が大切東と丁と北が吉
●六白の人 業務の擴張には吉き日なれど氣移りは禁物壬と巽と巳が吉
●七赤の人 勉め次第にて伸び太り行く日入學起業等吉壬と巽と丁が吉
●八白の人 頓挫を來すも中途に心を緩めぬ樣にすべし東と丁と北が吉
●九紫の人 廣々とした所へ出でたる思ひある開運の日乾と丁と巳が吉

大正九年十二月十四日　第三種郵便物認可

新京日日新聞　朝刊

【本紙朝夕刊十二頁】

本紙定價　一部五錢　一ケ月壹圓五拾錢（郵税一ケ月拾五錢）
廣告料金　普通一行貳圓五拾錢　特別一行
發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社　電話　編輯局專用（③）三三二五　營業局專用（③）三三〇〇
發行人　十河榮忠　編輯人　松本勇　印刷人　水越內之介

新銳の武寧攻擊部隊
敵最後陣地猛擊
烈風下に士氣益々昂る

【漢口廿五日發國通至急報】有力なる新銳〇〇部隊の來着によつて士氣愈々昂れるわが武寧攻擊部隊は廿四日午後三時を期し折柄風速十五米の烈風を衝いて來援した〇〇部隊と協力、武寧北側の陣庄西北高地に向つて旺んなる一齊攻擊を浴びせかけ激戰の後頑強を極めた數千の敵を擊破、ついで一帶の高地を占領引續き夜を徹して敵を西方に壓し廿五日朝來武寧四邊の波狀高地を利して構築した武寧防禦の敵最後陣地に迫つて猛擊を加へてゐる、敵は修水北岸最後の據點たる武寧をあくまでも固守すべく天惠の地勢に據つて頑強なる抵抗を試み、修水南岸より續々援軍を增派し必死の防戰に努めてゐるが、廿五日のわが猛擊に流石の頑敵も逐次崩壞、既に一部は武寧對岸南市に渡河退却を開始した

夜の第二線陣突破
戰術上の難問解く快戰

【奉新廿五日發國通】快速木島、飯野の兩部隊が行動開始以來修水と奉新追擊戰に示した偉大な功績はわが戰史に永久に記錄すべき壯擧である、即ち廿日夜電光石火的に修水渡河に成功後、僅か一時間で堅固な陣地に據つて死物狂ひに抵抗する敵を擊破、第一線陣地を奪取後、矢繼早やに第二線陣地を確保した事實はわが戰術上疑問視されてゐた、夜間における二線陣地突破の問題を解決したもので、戰史上新記錄である、また修水陣地突破後早くも三日目には泥濘の惡路を怒濤の如く敗敵を追擊し修水奉新間七十五粁を不眠不休、凡ゆる困苦缺乏に堪へ奉新に進出、特に第三日目の强行軍は言語に絕し、橋梁奉新間四十七粁の難路を晝夜兼行攻擊進軍、將兵も軍馬も疲勞困憊の極に達し、〇〇部隊長も徒步で行軍、山砲、步兵砲、機關銃は分解運送した程で、この部隊將兵の淚ぐましい辛慘は筆絕に盡し難きものがある

友軍を掩護する砲兵部隊

潞安、沁縣奇襲

【〇〇基地廿五日發國通】原田部隊の〇機は廿四日潞安、沁縣を夫々奇襲し、各々市街重要部敵軍事據點を爆破、多大の損害を與へ全機無事歸還した

陸鷺、山西省垣曲猛爆

【〇〇基地廿五日發國通】わが陸の荒鷲山口部隊〇〇機は廿五日午前七時半勇躍出動、黃河北岸、山西東南部の要衝垣曲による敵を爆擊、全彈命中、多大の損害を與へ全機無事歸還した

各部隊の追擊益々急

【漢口廿五日發國通】中支軍廿五日午前十一時卅分發表＝
一、廿二日夕快速部隊の奉新占領に引續き〇〇部隊の一部は廿三日夜すでに奉新に進入しありたること判明せり
二、廿四日わが飛行隊は風速十八米の烈風を冒し敗敵を急追し上空より隨所に多大の打擊を與へたり
三、廿四日各隊は士氣いよいよ旺盛にして追擊ますます急なり

修水南岸猛爆

【上海廿五日發國通】艦隊報道部廿五日發表＝中支方面において海軍航空隊は前日に引續き廿四日鄱陽湖西方地區における陸軍部隊の作戰に協力修水南岸の敵陣地及び密集部隊を銃爆擊しこれを制壓すると共に他の攻擊部隊は數次にわたり浙贛線交通機關遮斷に出動、熾烈なる防禦砲火を冒し左記地點において驛及び軍需品輸送中の列車多數を粉碎多大の戰果を收め全機無事歸還せり
一、家芥驛（南昌＝貴溪間）貨車線路及び軍事施設破壞
二、篠㘵口（豐城西方）貨車數輛爆破

外務辭令（廿四日附）

【東京國通】
臺灣總督府外務部長 任大使館參事官トルコ國在勤仰付らる　加藤三郎
調査部第五課長 命官房電信課長　中村豐一
調査部第四課長 命調査部第五課長　豐田薰
公使館一等書記官（スペイン） 任外務書記官 通商局第二課長を命ず　高岡禎一郎
通商局第二課長 通商局第六課長を命ず　太田知庸
なほ現電信課長森喬氏は興亞院華中連絡部文化局長（勅任調査官）に、現通商局第六課長千葉蓁一氏は臺灣總督府外務部長（勅任事務官）に轉出する

江北戰々果

【漢口廿五日發國通】安陸舊口鎭、羅漢寺等漢水河岸一帶の要衝を占領し漢水東岸地區を完全制壓した過般の江北作戰においてわが軍の收めた戰果は左の如し
敵遺棄死體四七四〇、捕虜二七〇、鹵獲兵器＝小銃一一七二、重機一八、輕機一〇四、輕迫擊砲一八、防毒面二六、馬八九、小銃彈藥三〇、〇九五、機關銃彈藥二、九一三、手榴彈一、五九〇、このほか電話器、無電機、拳銃等多數

陳庄西北三山占領

【陳庄廿五日發國通】武寧攻擊のわが軍は廿五日朝來陳庄西方山岳地帶に激戰を展開し白濱、岩崎、江島、原田、肱岡、藤村、高瀨の各部隊は目下陣庄西北方凡そ三キロ萬壽山、海鼠山、松山の三山を猛擊中、砲聲殷々として修水河畔にこだましつゝある

【陳庄廿五日發國通】白濱、江島兩部隊は廿五日午後六時航空部隊の猛爆と藤村部隊の猛火の掩護下に陳庄西北方二キロの敵堅陣松山、海鼠山、萬壽山三山を完全に占領したわが方の損害負傷僅かに二名で實に記錄的戰果である

南平鎭の殘敵潰滅

【徐州廿五日發國通】わが軍の迅速果敢なる各地掃蕩肅清に蠢動地區を逐次縮小されて于學忠軍百十三、百十四兩師の一部は淮安方面よりわが軍の眼を巧みにかすめて宿縣西南方靈城方面の主力と合し自暴自棄となり、その一部約二千は過般來宿縣西南約二十粁南平鎭附近一帶の部落に侵入更に續々援兵を增加しつゝあるのでわが澤田、靑木兩部隊は廿四日早曉南平鎭東方地區にこれを邀擊猛擊を加へ敵の出鼻を挫いてこれを潰走せしめた

衆院本會議

【東京國通】最終日の衆議院本會議は廿五日午後一時廿分開會、小山議長より宮城縣で繰上當選せる新議員北村文衛氏（民政）を議場に紹介せる後、日程を變更し請願六百四十四件を採決、建議案二百二十八件を委員長報告通り決定
一、昭和十二年度歲入歲出總決算
ほか二決算案を委員長報告通り承認二時二分一旦休憩、午後四時五十分再開、直ちに小山議長より
第七十四議會は本日をもつて會期終了致します、今議會は事變以來第二回の通常議會であり事變の處理、東亞建設に關する政府提出重要豫算ならびに諸法案は全部昨日をもつて議了した、これ各員の精勵の結果でありその勞苦を謝します
と閉會の挨拶をなし同五時一分散會した
これで議事日程全部を終了した」旨を宣し四時卅九分散會

故杉村大使に特旨敍位

【東京國通】長き邊りでは廿四日逝去した特命全權大使杉村陽太郎氏が生前外交界に盡したる功勞を思召されて、廿五日左の如く特旨敍位の御沙汰あらせられた
故特命全權大使從三位勳一等　杉村陽太郎
敍正三位（特旨を以て位一級を追陞せらる）

佛大統領より弔電屆く

【東京國通】杉村大使の逝去は全歐に大なるショックを與へ、いづれも今は亡き偉大な外交官を追慕し哀悼の意を表してゐるが、殊にフランス上下の弔意と失望は深く、廿五日有田外相に宛てルブラン大統領夫妻及びボンネ外相より杉村大使の逝去に對し深甚なる弔意を表すとの弔電がありまた國際聯盟事務總長アブノールド氏よりは杉村大使の愛國心、努力、禮節は永久に消えざるべしとの弔電が屆けられた、尙アンリー駐日大使は廿五日午前十一時外務省に有田外相を訪れ、政府の訓電に依る公式の弔意傳達を行つた

興亞議會無事終了
全議案通過成立す

【東京國通】第七十四興亞議會は廿五日無事終了、廿六日貴族院で閉院式を行はせられることゝなつたが、廿五日今會議の議案審議の成績を見るに政府提出の法律案は八十九件、豫算案十四件、豫算金支出の承諾案六件、決算三件の多きに達し、しかも平沼內閣は組閣早々殆ど準備期間なき法案は會期半ばをすぎた頃提出されたに拘らず僅かに增稅案をめぐり衆議院において多少もんだ以外別段の波瀾なく興亞協力の實を擧げて一件の審議未了もなく全議案通過成立した、即ち豫算案十四件は全部原案可決、法律案は八十九件の內原案可決七十八件、修正可決十一件、豫備金支出並に決算は何れも原案を承認された、なほ議員提出法律案は卅二件、內衆議院通過七件成立は一件もなく、また建議案は二百四十二件の內可決二百卅七件である、平沼首相は議會終了後左の如く語つた
第七十四議會は無事終了した、今議會は事變が新段階に入つて間もなく開かれわが國としては事變處理上極めて重要な時期に當面してゐたのである、而して諸外國はこの議會を通じてわが國勢を見ようとし國論の動向を知らんとしてその視聽を集めたものであるが、議員諸氏が時局の重大性を洞察して議案審議に當り國家體制の强靱を內外に指示したことは同慶に堪へない、茲に九十四億餘に上る豫算と增稅案、配給統制法案、宗敎團體法案をはじめその他幾多の重要案が無事成立致したことはまさに政治家擧國一致時艱突破の國民の意思が議會を通じて反映したことを立證するものである議會の協贊を得た諸案件については、この後その有效適切なる運用を期し、この重大時局に對處したいと思ふ、今議會開院式の際の勅語にお示しの如く國民精神の昂揚と國家總力の發揮こそ今後全國民擧つて努めねばならぬところであつて私はますますこの重責を盡すために邁進する心底である

十四年度豫算總額
九十四億九百五十萬圓

【東京國通】昭和十四年度豫算は廿四日貴族院本會議における第二號追加豫算の成立を以て全部成立を告げたがその內譯は左の如し（單位千圓）
一、一般會計本豫算
三、六九四、六六六
一、第一號追加豫算（陸海軍新國防計畫豫算）
九一〇、五四三
一、第二號追加豫算（文治各省經費）
一九九、三三二
一、臨時軍事費豫算
四、六〇五、〇〇〇
計
九、四〇九、五四一
この內支那事變特別稅收入、その他一般會計より軍事費に繰入れの通拔け勘定五億三千五百十八萬六千圓を整理すれば純計八十八億七千四百卅五萬五千圓となるが別に臨時軍事費關係で七億圓の豫算外契約が認められてゐるから昭和十四年度の實質的豫算總額は實に九十五億七千四百卅五萬五千圓に達するわけである

貴院本會議

【東京國通】最終日の貴族院本會議は午前十時十七分開會直ちに日程に入り
一、請願委員長報告
一、昭和十二年度第一豫備金支出の件
ほか承諾を求むる件五件に對し承諾を與へることに決定、ついで
一、輕金屬製造事業法案
一、帝國鑛業開發株式會社法案
の二案を一括上程、委員長の報告後討論に入り長岡隆一郎氏（交友）により利益をうけるのは日本輕金屬會社だけであるが本輕金屬增產の爲には國產原料を使用してゐる日本電工日本アルミその他既設會社も補助せられたいと贊成意見を述べ、ついで井上匡四郎子（研究）も同樣の要望をなして討論を打切り採決の結果原案を委員長の報告通り可決十一時十七分休憩、午後一時四十九分再開、午前に引續き日程に入り映畫法案米穀統制、俳優法案、物品關係法等政府案を逐次上程可決成立、最後に松平議長より一

獨の進出に對し
波態度決定に苦慮

【ロンドン廿四日發國通】駐英ポーランド大使ラジンスキー氏は廿四日外務省にハリファックス外相を訪問、ボンネ佛外相の訪英に伴ふ英佛會談の結果を聽取して種々意見を交換した、ポーランド政府はドイツのメーメル合併とスロヴァキア保護國化とに刺戟されドイツの進出に對する政策を苦慮してゐる模樣でラジンスキー大使もこれに關聯して英佛ソ聯等に反獨陣營がどの程度まで强化される見透しがあるかにつき對獨共同宣言案の成行きと關聯し英國側の意向を打診したものと見られるなほ四月三日にはベック波蘭外相がロンドンに乘込む豫定で、ベック外相の訪英によりポーランド政府の態度も漸次明確となららう

ヒトラー總統伯林凱旋

【ベルリン廿四日發國通】廿年ぶりに祖國ドイツに復歸したメーメル地方視察のため廿二日夕メーメルに赴いたヒトラー總統は往路同樣巡洋艦ドイッチュランド號に搭乘、廿四日午前九時十五分スイーネミュンデ港到着直ちに特別列車でベルリンに向ひ正午晴れの凱旋をなした

マドリッド開城
兩政府間に折衝開始

【ブルゴス廿四日發國通】人民戰線側の申出によりマドリッド政府代表との間にマドリッド開城の折衝が開始されたことを肯定した、半官筋によればブルゴスではフランコ政府側の提示した條件に對する人民戰線側の回答を待つてをり、その內容の如何によつてはフランコ軍はマドリッドに無血入城し得るものと期待してゐる、一方萬一ミアハ內閣がフランス側の條件を容れぬ場合は斷乎マドリッド總攻擊にあたる準備を整へてゐる模樣である

獨逸よりの輸入新部令公布

ドイツよりの輸入については從來「對獨爲替統制に關する件」により諸般の手續きを處理して來たが、その後「爲替管理法に基く臨時措置に關する件」が公布されたので經濟部では廿五日部令十一號をもつて「獨逸生產品の輸入に關する爲替管理法に基く命令の件」を公布し從來の「對獨爲替統制に關する件」を廢止した新部令の大要は左の如くである
ドイツ生產品を輸入する場合は左記書類を稅關長に提出すること
一、ドイツ生產品なる旨の輸出者の保證を記載せるインボイスの寫
一、輸出者がドイツ國外國爲替法令に基きライヒスバンクに提出したる輸出爲替申告書A號の寫にしてライスバンクの原本受領證明あるもの

上海總領事館
アジア・ホテルで事務開始

【上海廿五日發國通】全樓の濃厚で廿五日正午より總領事館內に三浦總領事、陸軍廣田大佐、海軍光延中佐、憲兵隊五十嵐中佐等參集、昨夜に引續き再度の重要會議を開きこれが對策について協議した

上海廿五日北四川路新アジア・ホテルに假事務所を設け事務を開始したが、一方火災の原因については抗日分子の放火說

國務院會議

政府は廿五日午後十一時臨時國務院會議を開き、左記議案を審議可決した
一、國立大學哈爾濱學院設立要綱
一、國立大學哈爾濱學院官制
一、滿洲自動車製造株式會社設立要綱
一、六年度一般會計追加豫算（國立大學哈爾濱學院設立に要する經費、國境建設準備費）

偶語

蒙古襲來の時相模太郎時宗は急遽佛光國師に如何にすべきかを問ふた▼國師は「如何か向前せん」と事もなげに答へたのに時宗ぐつときて一喝すれば國師は▼眞の獅子兒たり、能く獅子吼す、驀直に進前して回顧する勿れと諭した▼元寇の役が我れの大捷に歸したことは時宗獅子吼を以つて一斷した結果である▼生命は斷へず生成する內に眞劍と至誠あらば外には石と鐵と相擊つとも必ずや熱誠な烈火となる▼熱誠と烈火は人と神との境界線で其の縫目から神秘な天父の〃われ〃が現れる、人生は井戶の樣なもので汲出せば汲出すほど無盡藏から溢れ出る▼だから精一杯汲み出すほど生命開發の飛躍となるのだ▼是ある哉▼斷じて逸す可からざるは此〃機會〃である▼女學校制服指定製作所に三樣の等級を付けてゐる▼裁斷に變りはないが質が異るのだといふ▼物に感じ易い少女の胸を痛める原因をつくるやうなものだ▼與て學校當局が誤つて認可したとしても早速一種に改められたきは親心

原棉綿製品統制法 きのふ公布施行さる

社說 不祥事と自戒

滿洲にも大掛りな官吏の不正事件があつたことが判り、すでに摘發されるに至つた。しかもそれは日系官吏の不祥事件であつた。これは甚だ遺憾な出來事であつたと言はなければならぬ。ひとり官吏のみならず自肅自戒の必要は今日の時局下に於いて痛感されてゐるところである。日本に於いてもこのことは繰り返して說かれてゐる。これは滿洲國についても同樣であるべきである。しかも日本人は滿洲國に於いて特に指導者たる立場に立つてゐるのであつて、その日常擧措の間にもよろしく諸民族の規範となることを心掛けねばならぬのである。それをあきらかに裏切つたそのやうな事件の發生したことはまことに痛嘆さるべきである。

思ふにその職分の關係によつて、或る部門に立ち働く人々は種々の誘惑に面することも多いであらう。しかしながら毅然たる心構へがそこに出來てゐさへすれば、そのやうな誘惑等も容易にしりぞけられるであらう。曾つての時代にはそのやうな誘惑に身をゆだねることを以て國家に對する大逆の罪に値ひするものとして扱つて來たものである。封建制の時代から資本主義の時代に入つてさうした考へ方は變化するやうになつた。しかし考へてみれば現在のやうに國家の機關が各方面にその觸手をひろげ、また統制會社等の職能が廣汎な範圍に及んでゐてそれも大部分は國家行政の代行と見られ得るやうな時代に於いては、われ〳〵は曾つてのやうな考へ方を取り戾す要があるのではあるまいか。まことに社會的關係に於いてこれを見るとき、さうした行爲は、單に不當な利益の收得たるに止まらず、その託された本分に對する背叛であり、その意味に於いて國家社會への叛逆に外ならぬと言ひ得るであらう。われ〳〵一般人は、問題を單に法律の範圍のみで見るのではない、より廣い視野からこれを評量し批判しようとするのである。

滿洲國に於いて官公吏が受け持つてゐる役割は甚だ大きい。また各特殊會社等の陣容も老大なものを有してゐる。それらの多くは殆んど公務ともいふべき仕事を果しつゝあるのだと思ふ。聞くところによれば規定的には僅かにそのうちの一、二社の從業員のみを公務員として扱つてゐるだけだといふ。それでいいのであらうか。兎も角、規定は何れだとしても、各人の心掛けに於いてはかゝる公務員たることの自覺が必要であらう。こゝには專ら斯うした方面について書いたが、もとより自肅自戒の要はさうした方面にのみ止まるものではない。よろしく各人相協力して將來にかゝる不祥事を再び發生せしめぬことを期したいと思ふ。

原棉及び綿製品の輸入制限に伴ひ綿製品の配給不圓滑や價格の昂騰を生ずるに至つたので、政府は昨年十一月統制要綱を確立、配給機構の圓滑化を圖ると共に價格の統制を期し原棉、綿製品統制法を立案し、三月六日、九日二回の國務院會議を經て可決され、十四日の參議府會議の諮詢を經て廿五日公布即日施行された。同法は全文十六條で滿關一體の見地から關東州でも同一步調の法令を制定し全面的に協力することになつたが、同法の制定により配給の調整、價格の安定が期待される、同法の骨子は大要左の如きものである

一、原棉については國內の棉花株式會社を通じ、外國產の棉花輸入業の手を經て棉花聯合會に買取らしめ、聯合會は產業統制法で許可を受けた紡績業者或ひは產業部大臣の指定を受けた織物業者に渡し綿製品に仕上げるもので、この他のものは仕事は出來ない譯である、この際の價格は產業部大臣の定めた値段で取引を行はねばならぬ

一、綿製品も外國產も國內產も聯合會が第一に收買せしめ卸賣業者、小賣業者を通じて消費者の手に渡るが、この場合も消費者保護の立場から元賣捌業者を指定し販賣業者、卸及び小賣)の賣値も產業部大臣の指定値段を超へることは出來ないことになつてゐる、これに違反して價格を釣り上げたり、買占めを行つたり、所謂暗取引などで商內をしたものは行政處分或ひは罰則を適用されて處罰される

一、この統制法で特に注意すべき點は關東州との深い關係から同樣の法律が同時に公布されて全面的に協力することになつたこと、指定業者に國家的事情から例外規定が設けられてゐること貿易統制法や棉花統制法と些も抵觸せぬこと、暗取引が絕對に禁止されてゐること等である

一、統制法に依つて定められた小賣の最高價格は大體最近の各地の相場に比較して約十%の減價となつてゐるが、第一に營口、奉天、新京、哈爾濱、安東、錦縣等六都市に指定小賣價格を設定して之を中心とし之にその附近の需要地に至る運賃や諸掛を加算してその需要地の、小賣價格としたものである、小賣の最高價格は每月一日告示される

關東州にも實施 關東局當局談發表

滿洲國政府の綿業統制法公布に呼應して關東局に於いても關東州臨時原棉及び綿製品統制規則を制定これに協力することゝなつたが、關東局では廿五日左の如き當局談を發表した

△關東州及び滿洲國に於ては從來相協力して原棉又は綿製品の增產獎勵を爲し來つたのであるが、未だ其自給自足の域に達せず、殊に今次事變を契機として日滿兩國の戰時經濟體制は逐次强化せられ、原棉及び綿製品に付ても國際收支の改善又は需給關係調整の必要に迫られ、日本に於ては曩に之が非常管理制度を實施して遂に所謂圓ブロック向輸出制限に迄進展を見、他方中華民國臨時政府に在りても北支產棉の輸出を制限する等近時關東州及び滿洲國の環境は著しく變化を來し原棉及び綿製品の取得困難となり需給關係は益々均衡を失し其の價格亦昂騰して一般經濟界に及ぼす影響は蓋し甚大なるものがあるに至つた、仍て當局及び滿洲國政府は先年既に此の新事態に對應して滿洲內生產品及び輸入品の配給並に價格統制を行ひの需給の調整と價格を公定して消費經濟の安定合理化を圖ると共に滿洲綿業界の堅實なる發達を目途とする方策を樹て當局に於ては輸出入品等に關する臨時措置令に基き、玆に關東州臨時原棉及び綿製品統制規則を公布實施するに至つた次第である、而して

關東州に於ける之が統制方法は大體滿洲國側と同一步調を採り社團法人關東州綿業聯合會をして當局の督監の下に原棉及び綿製品の一元的配置統制に當らしめ叙上の目的を達成せんとするものである

然し乍ら本制度の實績如何は一に懸つて其の運營宜しきを得るや否やに在るを以て此の際關係官民共に克く制度の主旨を體して今後一層自肅自戒相協力して現下の綿業對策の圓滑なる遂行に遺憾なきを期せられんことを切望して止まない次第である

收買配給機關を指定

產業部では綿業統制法公布と同時に佈告を以て原棉及び綿製品、收買、配給に任ずるものを各條項に應じ左の通り指定した

一、同法第三條により原棉の收買配給を行ふものとして社團法人滿洲綿業聯合會

一、同法第五條により綿聯が綿製品を買上げることの出來る會社として指定されたものは東洋メイヤほか七社となつてゐる

東洋メイヤ工業會社、德和紡織會社、奉天紡紗廠、滿洲紡績會社、滿洲製糸會社、福壽織布會社、營口紡織會社、恭泰莫大小紡績會社

一、同法第六條第一項によつて指定された元賣捌業者で伊藤忠商事ほか十社である

伊藤忠商事會社、日本棉花會社、東洋棉花會社、加藤物產會社、兼松商店、田附商店、八木洋行、又一會社、丸永商店、江商會社、三菱商事會社

現在市價 全面的に一割下る

綿業統制法の施行により最高價格は最近の相場に比し全面的に約一〇%方の値下を狙つてゐるが、主要都市の小賣價格を示せば左の如し(例細布五子の滿尺一尺、單位錢)

	最高價格	最近の相場
大連	一六、〇	一九、〇
營口	一七、〇	一八、〇
奉天	一七、〇	一九、〇
新京	一七、〇	一八、〇
哈爾濱	一七、〇	一九、〇
安東	一七、〇	一八、五
錦縣	一七、〇	一八、〇
承德	一七、五	一九、〇
通化	一八、〇	二〇、〇
洮南	一七、五	一九、〇
吉林	一七、〇	一八、五
延吉	一七、五	一九、〇
齊々哈爾	一七、五	一八、五
牡丹江	一七、五	一八、五
佳木斯	一八、〇	一八、五

產業部當局談

原棉綿製品統制法の施行に際し廿五日產業部は大要左の如き當局談を發表した

□我國綿製品の需要は人口の增加、民度の向上により急激に增加し之に伴ひ國內纖維工業も近年顯著な發達を遂げ居るも原棉に付て言へば國內產棉の增產方策實施にも拘はらず尚自給の域を離れること遠く其の大部分を北支及び第三國の

輸入に

仰ぐ現狀であり、綿製品に付て言へば我國の纖維工業は近代工業の水準に達して日極めて淺き爲國內需要を充足するを得ず年々約三億に近き巨額の輸入を見る實情である、而して支那事變を契機として日滿を通ずる重工業を中心とする國防經濟の再編成、國際收支の均衡策等に因り日本に於ては綿の非常管理制度實施せられ其の結果日本より我國への綿製品輸出は制限せられるに至り又地方本事變進展に伴ひ之迄北支に仰ぎし原棉の入手は頗る困難となつたのである、其の爲國內に於ける原綿製品の需給は著しく均衡を失し價格は昂騰し國民經濟上誠に面白からざる事態を現出するに至つたのである、斯の如き國內の實情に鑑み原棉綿製品の配給價格の統制に付此際適切なる對策を樹立することは是非とも必要であり

安定を

此の事は國民經濟の圖る爲にも又綿業の堅實なる發展を期する上にも最も緊要事と考へるのである、隨つて政府は現下の綿業事情の要請に應ずる爲原棉綿製品の國內生產品及輸入品の配給及價格統制を行ひ以て其の需給の圓滑と價格の公正を圖ると共に滿洲國綿業の堅實なる發展を目的として原棉綿製品統制法を制定するに至つたのであるが、其の運用方針について述ぶるに先づ其の統制方策として社團法人滿洲綿業聯合會なる機關を指定し政府監督の下に原棉綿製品の一元的配給機關たらしめ、此の機關を中樞として原棉綿製品の輸出入、購買、販賣の各部門に亘り原棉輸入業者、棉花株式會社、綿絲紡績業者、綿織物業者又はメリヤス製造業者、元賣捌業者、卸賣業者、小賣業者等の配給系統を規制し且原料製品の流通に對しては價格の公定制を以て臨み、かくして消費者大衆に對する

綿製品

の配給を合理化し國民生活の安定を確保せんとするものである、以上の如く本統制法の運營如何は民生に影響する所極めて大なれば關係業者並に當業者は現戰時經濟下における會社的職分を自覺し且自戒して違反行爲の絕無を期することは勿論法規趣旨に積極的に協力し時局下に於ける我國綿業國策の圓滑なる遂行に遺憾なからしむることを切望する次第である

酒稅法の改正公布

國運の伸展に伴ふ經費の膨脹に對應して歲入の不足を補ふため政府は既報の如く酒稅の增稅を行ふことゝなつたが廿四日臨時參議府會議の諮詢を經て右に伴ふ酒稅法の改正を廿五日附公布した、酒稅法中左の通改正す

一、第六條第一項を左の如く改む

酒稅の稅率は左の區分に依る

1、燒酒
甲、酒精分七十以上のもの 一石に付 十八圓
乙、酒精分五十以上のもの 一石に付 十圓五角
丙、酒精分五十未滿のもの 一石に付 八圓
2、黃酒 一石に付 十一圓五角
3、紹興酒 一石に付 十五圓五角
4、啤酒 一石に付 十三圓五角
5、日本淸酒 一石に付 十七圓
6、朝鮮藥酒 一石に付 十三圓
7、濁酒 一石に付 八圓五角
8、前各號以外の酒類
甲、酒精分十五以上のもの 一石に付酒精分一毎に 一圓二角五分
乙、酒精分十五未滿のもの 一石に付 十七圓

二、第十條中「十八圓」を「十四圓」に改む

三、第十一條の二を左の如く改む

第十一條の二 外國に輸出する酒類に付ては經濟部令の定むる所に依り其の酒類に課せられたる酒稅の全部又は一部に相當する金額を交付することを得

四 第十一條の三を削る

五、第二十五條第四項中「酒稅の納付の免除又は」を削る

附 則

本法は康德六年四月一日より之を施行す酒類に對する課稅及交付金に關する事項にして本法施行前に屬するものに付ては仍從前の例に依る

古田前參議 勳一位に

皇帝陛下には今回退官した參議古田正武氏の在官中の功績を嘉せられ勳一位に叙し柱國章を賜る旨御沙汰あらせられた、親授式は廿七日午前十一時に行はせられる

波蘭軍に動員令下る 國境警備を增强

【ワルソー廿四日發國通】ドイツのチエコ併合メーメル接收以來ポーランド政府は異常な緊張ぶりを示しつゝあつたが、廿四日ポーランド軍の一部に動員令が下つた模樣で軍の配置は嚴秘にされてゐるが專ら北方リトアニア、プロシヤ方面國境警備の增强にありといはれてゐる

スロヴアキア侵入の洪軍 撤收を了す

【ブラチスラヴア廿四日發國通】廿三日のハンガリー軍のスロヴアキア領越境事件は中歐政情に新たな波紋を投げたものであつたが廿三日締結されたドイツ、スロヴアキア間の新協定によつてスロヴアキアが軍事的にドイツの支配下に置かれることが發表されるやハンガリー側は俄にその態度を改めブダペスト放送局はハンガリー軍は廿四時間以內にスロヴアキア領より撤收するであらうと放送した、政府筋では越境ハンガリー軍は既に撤兵を開始しハンガリー軍によつて占領されたソブランツエ・カルナ、ロツトカの諸地方は既にスロヴアキア軍の手により奪還されたと發表した

戰ふ準備は一切完了す 伊ガ主筆論ず

【ローマ廿三日發國通】イタリー政府機關ジヨルナーレ・デ・イタリア紙は廿三日の紙上に「大會に對する準備」と題するガイダ主筆の社說を揭げイタリー軍備の完成と防共樞軸强化の根本方針を强調し左の如く論じてゐる

□イタリーは永續的平和を希望するものだが、現下の情勢ではこれは到底望むべくもないイタリーは精神力と軍備とによりその權利を守る方法を知つてゐる、さらに單刀直入にいへばイタリーは今や戰ふ準備は一切完了したのである、イタリーは擧國一致精神的に結束し自給自足政策により軍備を整備し何國といつでも戰ふ實力を得たが、さらに獨伊樞軸は勿論歐洲ではユーゴースラヴイア、アルバニア、ポーランド、ハンガリー、スイス、スペイン等と協力、東洋では日本及び滿洲國と固き提携をすることにより空前の國力を持つに至つたのである、ムソリーニ首相は自國の力とその將來の發展力とをフアシストイタリーに敎へた、イタリーはまた誓文化された協定條約よりも各個の利益をもつて結びついた仲間の方が如何に眞實に協力し得るかをも學んだ、本日新議會開院式におけるエマヌエル三世陛下の勅語はイタリーが必要とする限り如何なる犧牲を拂つてもその權利と平和擁護のために敵然として邁進する決意があることを明確に國民は勿論、全世界に示されたもので、イタリーの行くべき道はこれにより決定的に明確となつたのである

伊の協力諒解成る ス軍備强化に

【ローマ廿四日發國通】スペイン人民戰線政府の和平申出でによりスペイン內亂は完全終了に近づきフランコ政府はいよ〳〵强化されるに至つたが確聞するにムソリーニ、フランコ將軍の兩國首腦間には戰爭終了後もイタリー軍隊をスペインに留め相當長期間駐兵し更に多數の敎官を派してスペイン軍備强化に協力する諒解が成立したといはれる

津浦線晴れの全通 四月一日より直通列車運轉 臨時維新兩政府首都結ばる

【北京廿四日發國通】難工五ケ月敵暴行の跡に建設された淮河鐵橋完成により玆に事變勃發以來初めて晴れの全通を見た津浦線は愈々四月一日から北京、浦口間に直通列車が運轉され臨時政府、維新政府の兩首都が鐵路によつて結ばれることになつた、從來中止されてゐた夜間運轉を開始しこの直通列車は下り午前七時五十五分北京發翌日午後五時三十分浦口着、上り午前十時浦口發翌日午前十時五十分北京着、卅三時間五十分で北京浦口間を走り、事變前に比し二時間遅れるのみといふ正調さ、又同列車には食堂車は勿論一、二等寢臺車も連結されてゐるから國際列車として交通上の便宜のみならず臨時、維新兩政府の緊密化を增大する政治上にも重大意義あるものと期待されてゐる、主要驛ダイヤ次の如し

△下り北京發午前七時五十五分、天津發午前十一時卅五分、濟南發午後九時二十五分、徐州發翌午前六時三十分、蚌埠發午後零時三十分、浦口着午後五時三十分

△上り午前十時浦口發、蚌埠發午後三時三十分、徐州發午後九時二十分、濟南發翌午前八時二十五分、天津發午後七時十分、北京着午前十時五十分

敵遺棄死體四千三百 修水戰々果

【漢口廿四日發國通】中支軍發表=修水河畔において敵陣を急襲突破せるわが軍は所在の敵を擊滅しつゝ概して西南方に退却中なる敵を急追しつゝあり、快速部隊は敵中に楔入し早くも廿二日夕刻には奉新城に突入せり、その他の部隊も馮水西岸地區を急追中にして廿二日午前八時半頃には奉新城に進入し、さらに敵を遠く〇〇方面に追擊中なり、箬溪西南方地區のわが軍は逐次既設陣地に據り頑强に抵抗せる敵を力攻し箬溪、武寧、平江道に沿ひ戰果を擴張中なり、航空部隊は退却せる敵を隨所に爆擊し多大の損害を與へつゝあり、廿三日夕刻までに調查したる戰果概要左の如し

遺棄死體四、三〇〇、捕虜一、〇三〇、鹵獲品(火砲四十一門、小銃約一千挺、自動車十二輛、馬五百頭)

黃河南岸地區の敵を掃蕩

【北京廿三日發國通】京漢線に殘された唯一の據點鄭州を死守せんとして黃河南岸地區に蠢動を續ける敵第卅師五十八旅軍との間に激戰を展開しこれに全面的打擊を與へた長谷川部隊は廿日夜半を期し原武南方八キロの地點より復黃河を渡河して廿一日拂曉舊黃河南岸石橋附近の敵を掃蕩しながら西進、石橋西方四キロの大凌庄附近に堅固な陣地を構築する敵を急襲してこれを西方に潰走せしめた、この時敵は京水鎭の東南方地區より野砲數門を布いて既に攻擊を開始したが、わが精銳はこれを冒して退却する敵を京水鎭に壓迫するや敵は京水鎭北方の堡壘に據り頑强に抵抗を續けたので主力は黃河の堤防地區より一部は黃河々床より敵の背後に迫つて遂に廿一日正午京水鎭北方の堡壘を占領、續いて黃河の決潰線に迫つて背水の陣を布き頑强に抵抗する約百五十の敵を潰滅した同戰鬪に於る戰果は敵の遺棄死體百五十、鹵獲品チエコ機銃一、小銃百五十、手榴彈六十、被服類多數、わが方死傷五

對蔣武器賣込み 香港外人貿易商の策動頻り

【香港廿五日發國通】最近ハイフオン經由對支貿易路を利用し、香港を根據とする貿易商ブローカーの對蔣政府武器及び軍事資材賣込み策動は復活の兆を示し來つた、即ち當地貿易商テルゲ・ウント・シユロエーター商會と支那側中國信託公司との間にデイゼル油二千六百トン、八萬元の賣買契約が成立し、その第一回分は英船アルビオン・スター號で廿六日ロスアンゼルスよりハイフオン向け積出され、ハイフオン着は四月廿日頃の豫定である、また同船には廣西省政府に向け賣込みの鐵條網二百五十トンも積載される筈になつてゐる、右鐵條網はハノイ經由龍州へ送られる筈であるが、香港の貿易商香港ミネラルス・アンド・トレイデイング會社の賣込みにかゝり、同商會シユコルビシアン氏は貯藏倉庫下檢分のため廿日佛船廣東號で香港よりハイフオンへ向つた、なほ同商會は重慶政府との間に重油四千五百噸の賣込み契約を締結したといはれる

各地の討匪狀況

【北京廿四日發國通】春暖と共に各地區において蠢動し始めた殘敵に對し皇協軍が皇軍に協力して活潑なる討匪が行はれてゐる

一、皇協軍張宗援部隊は廿一日山東省萊蕪附近にあつた約五百の敵を擊破し、同午前十時同縣城を占領、さらに東南方二十キロ大辛店附近の敵をも急襲してこれに多大の打擊を與へた、同部隊の入城により萊蕪の舊保安隊三百名が歸順を申込むなど赫々たる戰果を擧げた

一、冀中地匪雄縣警備の中村部隊は同地東南方六キロ龍灣附近に蠢動してゐた約三百の敵を功擊潰走せしめた、又固安の石川部隊は同地西方において數百の敵を潰滅した、敵遺死體五十三

一、中輿部隊は廿日大同の北方豐鎭東方二十五キロの得勝圖附近に蟠居する四百の敵を襲擊しついで西方に敗敵を追擊これを潰滅した、敵遺棄死體五十八、鹵獲品多數

讀者の領分

大同公園前の廣場を解放せよ（健康生）

大同公園前の國際ホテル用地に數千圓を投じて板塀と鐵條網がめぐらされた、當局の規則で建築用地には塀を必ずめぐらすことゝなつてゐるさうだ、あすこは夏季滿人向納涼園として使用せられたこともある、首警の自動車、馬車の檢査場にも幾度か使用せられた、またある時は天長節當日風あげ大會場としても使用せられ幾組かの野球チームが練習用にも用ひてゐた、極く最近では軍馬の運動場として朝なく使用せられてもゐた、それが昨年の暮迫つて塀がめぐらされ門には錠が施されてしまつた、あの廣大な土地が今年から使用が出來なくなり何時の日に果して國際ホテルが出來ることやら、誠にもつてモッタイない限りである、體位の向上が論議せられ道路さへある一部を市民の運動場として使用してゐる今日全く考へさせられる事實ではないか、見てゐ給へ今夏七八月頃を恐らく丈餘に達する雜草が生ひ茂つて、各種の虫がこよなき場所として繁殖することであらうし、國都の中央に八幡の藪ならぬ一大草原が現出することを、他の土地とは違ひ隣接地とてなく四面道路に面し否三面公園に面したあの廣場に塀がなかつたとて何程の不體裁乃至不用心があらうか、若しも杓子定規からの命令からであるとすればイヤハヤといふところ、今からでも遲くはない、少くとも三方は解放せよ、無料市民運動場として國民體位の向上のために

滿洲電業定時總會

昨年度下半期利益金四百八十萬圓

滿洲電業では廿五日午前十時より本社講堂に於いて定時株主總會を開催して康德五年度下半期決算報告、利益金處分案及び一部定款變更の件を附議したが、同社昨年下半期業績は營業收入二千百六十五萬一千圓、同經費千六百八十四萬圓、差引利益金四百八十萬圓を示し、これを前期の利益金に比較すると三十一萬六千圓の增加で前年同期に比すと九十三萬五千圓の增加となつてをり、同社躍進の跡を如實に示してゐる、なほ利益金處分は前期同樣年六分据置で一分增配案は持越されることゝなつた

丁社長挨拶

滿洲電業第九回定時株主總會に於ける丁社長挨拶要旨左の如くである

○

本期中（昨年度下半期）の營業の實績及び方針を概略述べれば、營業收入は二千百六十五萬一千圓、營業經費は一般經費一千四百二萬圓、償却並除却費二百八十二萬圓、合計一千六百八十四萬圓、差引利益金四百八十萬圓で之を前期の

利益金

に比べると九十三萬五千圓の增加となつて居る、事業設備に關しては、前期より引續き水力電氣の完成期を考慮に入れて發電計畫を樹てゝ居る、即ち火力發電所集中主義をとり、此の中心點を南滿に於ては阜新におき、撫順の發電と合せて南滿工業地帶の中心電源とすることゝし關東州に於ては大連を中心とする從つて本期事業施設は發電設備進行中の阜新、大連は別として主なる努力を是等大發電所を連絡する送電線及變電所においた、而して是等送電設備は勿論水力電氣完成後の全滿大送電網の一部たらしむるに不都合なきやう充分なる考慮を拂つて居り、其の結果として營口及び阜新變電所の設置、鞍山變電所の增設擴張と、阜新、營口、鞍山間の送電設備の完備に主要目標を置き、併せて錦州、北票方面の發送電計畫を

實施中

であるしかし乍ら、一面之等地域外にある各地の需要に應ずる爲各地發電計畫國防的施設に對しても勿論萬全の注意を拂ひ、苟も產業開發に齟齬を來すやうなことなきを期して居る、次に本期中事業の整理、買收につき述べると山海關電燈の全株を冀東電業に讓渡し、滿洲においては延吉及遼陽兩電業を買收して康德六年一月一日より之が經營に當つて居り以て電氣事業の統制と合理化に一步を進めた、なほ投資關係としては其の主要なるものとして滿洲電氣化學工業會社に對し一千萬圓株式引受をなし、第一回二百五十萬圓の拂込をして居る、この會社は將來水力電氣に依る低廉なる電力を利用する主として國防資源の生產を目的としてをり、政府斡旋の下に設立されたもので、當社としても電力消費上密接なる關係あるものである、以上諸事業遂行の資金關係においては政府當局の援助と、日本興業銀行を中心とする當社シンジケート團の

好意こ

により必要なる資金の調達に事缺かず、最近一千二百萬圓の社債募集も成立するに至り、更に今年度所要資金三千五百萬圓調達の諒解を受け、その內金として金二千萬圓を前借として既に融通を受け入れて幸に前途憂慮の必要なしと存ずる次第である

自動車工業確立へ

新會社の設立決る

政府は既報の如く滿業の綜合經營下に自動車製造會社を特殊會社として設立する方針を決し着々その準備を急いでゐたがこの程同會社法の脫稿を見たので來週の國務院會議に上程、遲くも來週中には公布することゝなつた、右自動車製造會社の設立とゝもに從來の同和自動車を擴充して組立修理に加ふて製品の配給を積極的に行はしめ新設會社の生產部面と相俟つて滿洲自動車工業の基礎は玆に確立を見る譯である、新設會社の設立要綱は大要左の如くである

一、名稱 滿洲自動車製造株式會社（假稱）

一、資本金 一億圓（全額滿業出資）

一、製造能力 大衆乘用車年產數萬臺

一、工場 奉天に置き直ちに着工康德八年末完成の豫定

一、技術資材は大體日本より調達する豫定であるが第三國よりの資材導入を考慮す

なほ新會社と同和共同でディゼル・エンジンの研究機關を設立し斯業の科學的進展に一步を進める筈である

滿洲採金會社

きのふ定時總會開催

滿洲採金では廿五日午前十時より新京本社において定時株主總會を開催し康德五年度に於る營業報告書、貸借對照表財產目錄、損益計算書及び利益金處分案（配當年五分）を承認せるのち定款一部變更の件を附議決定した、昨年度に於る決算內容左の如くである

貸借對照表（單位千圓）

▲資產之部

科目	金額
固定資產	八、三六八
鑛區	三、五一三
（內現物出資鑛區）	二、三五〇
興業費	三、六二八
諸施設	二二三
土地建物	六二一
機器	三六九
砂金標本	一二
流動資產	四、八九七
貸付金	一、一九九
銀行預金	一四九
現金	五三七
貯藏品	一、〇二四
砂金	五四
未收金	一四八
差入保證金	一
有價證券	一、七五〇
鑛石	三三
雜勘定	一〇、〇二六
興業費假勘定	八、九二六
假拂金	一、〇二六
金鑛局勘定	七三
計	二三、二九二

▲負債之部

科目	金額
資本金	一二、七〇二
株金	一二、〇〇〇
法定積立金	一八五
別途積立金	三三〇
繰越金	一八七
流動負債	七、七一五
銀行當座借越	五、八五九
社員身元保證金	八〇
從業員退職慰勞準備金	九一
社員貯金	一五〇
預り金	一、五〇七
未拂金	六二
雜勘定	二、一七七
假受金	二、一七七
本年度損益金	六六〇
計	二三、二九二

▲利益金處分

科目	金額
當期純益金	六六〇
前期繰越金	一八七
合計純益金	八四八

之を處分すること左の如し

科目	金額
法定積立金	一〇〇
役員賞與金	二八
株主配當金（年五分）	四八二
後期繰越金	二三七

理事長挨拶要旨

滿洲採金定時總會において石川理事長より業務報告を行つたがその要旨左の如くである

▲產金 康德五年度においては日滿支の新事態に對應する樣日滿兩國當局の愼重なる協議を經て滿洲產業開發五ヶ年計畫の積極的修正が行はれたので本社においてもこの基線に沿ひ從來の產金五ヶ年計畫に改訂を加へ愈々金の强行增產に邁進することになつたが、勞働力の全面的不足、降雨の異常なる多量、一部地域の治安の不良、設備資材の配給不圓滑及び滿洲鑛山株式會社への一部鑛區移讓等に因り產金量において豫定に到達し得ず、前年度に比しても相當の低減を見るに至つた

▲調查 しかしながら地方調查探鑛等の方面においては今後の增產に對する基礎をほゞ確立し得るに至つた、即ち前年に引續き調查網の擴充に力を注ぎ會社現地機構を擴充すると共に全地域に一工一機主義を採用、且つ金廠の助成發展を企圖して凍碃調查に對する奬勵に併せて試錐機を貸與調查せしめたる結果、黑龍江上流右岸地方に九ヶ所、松花江下流左岸地方に二ヶ所と續々採金船を入れ得る確認を見たる他各所に優良な手掘鑛區を發見するに至つた、斯くて本社事業區域內砂金の確實なる埋藏量として現在まで判明せるところは大約四億圓に達せんとしてゐる、又山金方面においては主として牡丹江及び吉林省方面において探鑛中であるがその結果は極めて有望である、然も今後治安、交通等の整備せらるゝに從ひ調查探鑛の躍進的なる發展を充分期待し得るのである

▲設備 採掘に關しては、前年に引續き採金船稼行中心主義をとり龍江省、嫩江縣泥鰍河に操業中の二隻に加ふるに同所に一隻、黑河省呼瑪縣に廿隻、牡丹江省穆稜縣に四隻、間島省琿春縣に三隻、總計卅一隻の採金船を康德七年度までに建設稼行することに確定をしたなほ特に呼瑪縣方面における多數の採金船の動力に當てるため同縣椅子圈に合計一萬キロワットの出力を有する火力發電所を設置することになり電力供給契約により滿洲電業株式會社において之が建設に着手した

▲業務 業務關係においては三月當社直營の依蘭勃、土門子、開山屯各鑛業所々屬鑛區を滿洲株式會社に對し租鑛權を設定し鑛業諸施設と共に各鑛業所ならびに住木斯出張所を擧げて同社に移讓した、また一般產金者に對する資金の供給も事業の進展に伴ひ愈々增加の趨勢にあり本期貸出高は約百三十萬圓に達し一般產金者の助成、誘致の一方策として相當の役割を果してゐる

▲事業方針 採金船については時局に伴ふ資材の入手難メーカーの大繁忙及び輸送の不圓滑等に影響され豫定通りの進捗を見なかつたが泥鰍河鑛業所の三隻のほか達拉罕方面に二隻、馬滴達に二隻、柳樹河子二隻、計九隻が全能力を擧げて稼行する、又地方急速なる金增產の要請に應じ手掘採掘を可能なる限り强行するため北支方面より採金苦力約一萬二千名を入山せしむべく關係機關と連絡をとり諸般の準備を進めてゐる、調查探鑛についても一層調查網を擴充すると共に一般民間業者に對してはその助成、進出、誘致、技術及び經營の指導、資金融通等に努力しその徹底を期してゐるから治安、交通の整備と相俟つて充分の效果を擧げ得るものと信じてゐる次第である

獨、ルーマニア協定

滿洲國に影響なし

新たに締結されたドイツ、ルーマニア間の通商協定中にルーマニア產の大豆十萬トンをドイツが買付け且つその增產を援助して買付の增量を保證する旨の一項目が加へられてゐるが、これに對し滿洲國政府當局及び業者一般の意向を綜合するに

現在のルーマニア大豆は品質惡く生產額も十萬噸足らずで問題にならない、然しドイツが自國の勢力範圍內において積極的な大豆增產を企圖するに違ひないから今後における滿洲の競爭相手となるであらうが、現在のところドイツの需要量も自然增加があるので滿洲國の受ける直接の影響は皆無に近いと云ふ意見に一致してゐる

獨、ルーマニア協定の要點

【ベルリン廿三日發國通】廿二日ブカレストにおいて調印されたドイツ、ルーマニア新通商協定はドイツの東南歐政策の大成功と言ふべく、英佛をして顏色なからしめたもので、今後ルーマニアは政治的にも漸次親獨傾向に轉じてドイツのウクライナ進出政策におけるドイツの衞星的存在となると見られる、新通商協定の要點左の通り

一、油田採掘は從來英米資本の獨占下にあつたが今後ルーマニア資本がドイツの資本及び技術と結合し採掘製油に當る

一、ルーマニアは從來軍事輸入の四割まで舊チエコのスコダ工場に仰いでゐたが今後ドイツの手で十分にルーマニア軍擴資材を供給する

一、ルーマニアの工業化は又ドイツの貿易の伸張擴大であるとの認識に基きルーマニア側で欲すれば資本投下も盛んに行ふ

一、ドイツは現在大豆を十萬トンルーマニアから買つてゐるがドイツはその增產を援助し且つ買付を保證する

倫敦油脂週況

中銀調查＝前週中（十三日—十九日）ロンドン油脂週況左の如し、本週中におけるロンドン油脂市況の動き（百斤當國幣換算）は概ね鈍重乃至は軟調に推移した

▲滿洲大豆 需要一服ながら直渡品の賣物に下支へられ小浮動裡に推移した

▲大豆油 產地大連相場高に十八圓五十錢に釘付

▲亞麻仁 イギリス及び歐洲大陸方面の需要散見されたるも依然十一圓十錢に焦付

▲亞麻仁油 引續き實需筋の買物が見られたが歐洲大陸筋の賣物に押され漸落、週末には廿四圓恰度と週初より五十錢方低落、軟調

▲菜種 依然鈍重、十圓五十錢

▲落花生 環境一齊不冴に稍々軟化十圓卅錢

▲棕櫚核 他品に伴れ軟化、週央後は九圓十三錢と辛守

▲棕櫚油 軟調

▲椰子實 棕櫚核以上の大巾低落を演じ、週央後に週初より四十錢安の十一圓十錢を示現、爾來凡調に推移

▲鯨油 現物ロッテルダム渡に引合散見され底堅、新捕鯨積値は噸當り十五圓近邊

▲牛油 依然一月末來の十七圓を堅持

木蘭＝東興、克音河＝綏棱間 バス營業開始

滿鐵は廿五日より木蘭＝東興および克音河＝綏棱間の旅客ならびに貨物自動車運營々業を開始する旨廿四日の社報で發表した

東莞製糖工場

愈よ操業を開始

【廣東廿三日發國通】事變前廣東省政府直營だつた東莞製糖工場は優秀設備を有してゐたが、經營拙劣のため廣東の沃野を埋める程大量に栽培される甘蔗の製糖には手をつけず南支一帶を徒らに密輸糖の跳梁に委ねてゐたが、廣東の日支兩當局はこれが操業に關し協議中のところ準備完了したので廿二日試運轉を終了、直ちに新興南支の躍動を見せ大規模な操業を開始した、これがため農家も一齊に救はれるわけで早くも附近一帶の村落から甘蔗の賣込みが殺到し南支における日支經濟提携の第一步が踏み出された

母國訪問記

（2）敷島高女旅行團便り

（第二信）三月十九日 京城—釜山 午前七時二十分京城着、一まづ荷物をあづけて、驛前の廣場へ出る、長い間の車中より久し振に大地に足をおろした滿洲の都會とは一種異つた空氣がある、大道を行く朝鮮婦人は頭の何倍もある大きな風呂敷包をのせて悠々と歩いてゐる姿は珍らしく感じさせられる、正面には電車の運行を見る、遙かに南大門を仰ぐ、整列をして朝の淸々しい氣分で神社參拜、左に折れ南大門を通り倫登る。「京にも田舍あり」と云ふ此の京城にも神社のそばに五、六軒朝鮮家屋が鄕の面影を殘して居る、「官幣大社朝鮮神宮」と書いた高い碑の前へ來て仰ぎ見る、何處に於いても驚きと感心の叫びが次から次へと起る、石段の多い事々々頂上まで白い石の段が氣持よく並んで居る、元氣をつけて上まで石段を數へながら登る、何と三百八十四段といふ數字を示した、皆上り切つた時はへと〱で足も足らしく感じられない程であつたが、神々しい社前では心もひきしまる、神社の內地と異る點として西北に向つて鎭座ましますことは東洋、永遠の平和を理想とされて殊に意味深く、又石材が豐富に使用されて居る事などそうです、御祭神天照大神、明治天皇の御德を偲びて私達は心から最敬禮をしました後、參集所より市を見下しました、多くの人家工場等特に國會議事堂に似た白い建物の朝鮮總督府等一目で見る事が出來た、案內の方よりお話を聞く、高い所の故か西北よりの風も冷たく新京よりも寒い樣に感じた、京城は形より言ふと瓢簞の形で人口は七十萬人內地人は十四萬人支那人二〇〇〇人外人は六〇〇人でそれは大方宣教師だそうだ、面積は昔は四里四方現在は九里四方に發達したとの事だ、始めは一部落に過ぎず八五〇年前今の李王家の祖先が都をこの京城に定められてより發達して仁王山安山南山にかこまれた盆地である。仁王山には城壁が安東方面へ向ふ國道と並んで今もなほ昔の面影を殘してる、その邊にはある碧蹄館の戰跡があるとの事だ。

漢江は龍山の向ふを流れてゐる。

龍山は軍用地で聯隊、兵舍、官舍が主にたつて居る、その他陽威中學、小學校、ビール紡績工場等があります。前までは日本より總べて取り入れたのが今は全部こちらで造りかへつて內地へ移出して居るさうだ。再び汽車に乘り悠然と流るゝ漢江を渡る。列車は秋風嶺の嶮峠を越え南朝鮮へ入る。所々水田が作られて居て何だかなつかしい。車內は半島の人で一杯となる。言葉はちつともわからないので大閉口山にはまだ雪がかゝつてゐたあこがれの母國へ近づく私達ののはち切れさうな喜びをのせた列車は洛東江のゆつたりした流水に沿ひて進む、一路釜山へあこがれの母國へ!!【丹・中山記】

家庭

『女は樂だ』など、おつしやるな殿方よ こんなに忙しい事を

歩度計が證明します

一家の主婦は毎日どの位歩くだらうか、それを歩度計(歩くたびに針が動く仕掛けになつてゐるもの)によつて、數名のサラリーマンの家庭の主婦について實驗したところによると朝起きてから夜寢るまでに一日平均七千五百歩、これを距離に換算すると約卅一町を歩くといふ事がわかりました、卅一町といへば一里に近い距離で、家の中にゐてこれだけ歩くのですから奥さん方の仕事も並大抵なものでない事がわかります

▼△

勿論この數字は平均數ですから、特に忙しい家の主婦や、外出を余儀なくされてゐる奥さん方は少くも一日に一萬三千歩(一里十八町)以上歩くことでせう、また炊事のためだけにどの位台所を歩くかといひますと、台所の廣さを四疊程度のものとして、朝食のために平均四百歩(一町六間)晝食のために平均四百五十歩(一町廿間)夕食に二千歩(七町)合計二千八百五十歩(九町廿六間)歩くことになります

これを前に申上げた一日の歩數と比較してみますと、一日の全歩數の三分一以上は食べることのために費してゐるわけで、炊事勞働の繁忙さは男子の想像以上です

▼△

かうした一日平均卅町以上歩く奥さん達に比較して、外に出てゐる御主人の方は、デスクの仕事をしてゐる人で歩數一日平均六千歩、距離にして廿四町です、これは出勤から歸宅までの歩行を全部計算したものです、またデスクの仕事と同時に外出する仕事をもつ人は歩數九千歩で約一里、それから外出を主とする人で一日平均歩數一萬一千歩、約一里十町で、外交員などは一日一萬四千歩位は歩いてゐます

▼△

これを奥さんの一萬三千歩に比較すると、主婦の方が十町程少いに過ぎず、奥樣商賣また辛い哉といはねばなりますまい

豆ニュース (三月二十六日)

◇三中井百貨店
▲お菓子まつり
▲全店春もの賣出し
▲第六回春の三優會
◇寶山百貨店
▲スパイ防止展
▲ヒスイ陳列會
▲量り菓子特賣會
▲春の呉服雜貨賣出し
◇みしまや呉服店
▲春物荷造新柄發表賣出し
◇乾寫眞機店
▲第一回カメラ交換會(三十一日迄)
◇金泰洋行
▲幸運 眞珠賣出し

ワイシャツ 經濟的な使ひ方

ワイシャツは後身頃のはうが、前身よりも長くなつてゐます、これは、カラーの切れた時に、この後からカラーをとるためにあるのです、日本人は、滅多にそんなことはしませんが、それでは後の長いのが無意味になりますから、これを利用して、充分にワイシャツを長持ちさせて下さい

◇季節のメモ◇ 革手袋の洗ひ方

革手袋の洗濯は素人には難物で、うつかりするとガサガサになつてしまひますし、色物は色のはげる惧れがあります一番效果的な洗ひ方は

第一に 揮發油一合にメリケン粉一つかみを入れてかきまわし、その中に手袋をつけたら直ぐに手にはめて、普通手を洗ふ時の樣に兩手をもみ合せながら汚れをおとします。かうして揮發油が非常によごれたら更に新しくして繰り返へします。そして最後にぬるま湯で洗ひ、乾いたタオルで手を拭く樣にして水氣をとつたら、日陰の風通しのよいところに干します。そして十分乾かぬうちに二、三度手に通してもめばよいでせう。メリケン粉を入れるのは汚れをとり易いからで、食パンでこする樣な效果がある譯です。

第二に その他の方法としては揮發油だけで洗ひ、その後メリケン粉を皿に出して、これをつけて揉むといふ方法もあります。勿論揮發油でとれた汚れを後に吸ひ取るためです、そしてこのメリケン粉は乾いてからブラシをかければよいのです。後の處理としては革を軟かくするのと、艶出しのためにワセリンを塗るのがよいのですが、それには脱脂綿にワセリンをつけて火にかざしよく溶かしてからガーゼに包んで手袋にこすり込むのがよいでせう。この時注意することは溫度が高いと革がいたみますからできるだけ低溫度の湯で洗ふことです。

迫る新入學

神經質な子供に眼を離さないで

新しいランドセルを背に「行つて參ります」と勇んで出掛ける初入學の日が迫つて參りました。これまでの家庭といふ特殊な環境から抜け出して全く新たな生活に入つてゆくこれら就學兒童のいたいけない緊張をみるとき、父兄は此の際いろいろのことを考へ、また準備されてゐるでせうがその中で最も注意して欲しいのに神經質の素地ある兒童の保護といふことです。

神經質の素地を持つた兒童は都會地では全兒童の中二、三〇%以上を數へてゐますが、これらの兒童は外見何ら他の兒童と變りないので、家庭では勿論先生も醫者も容易に氣付くことが出來ません、では神經質の子供とはどういふ精神の狀態をいふのであるかといふと、一寸した刺戟に對しても敏感で感情が動き易く氣分にむらがありまた物事に熱中し易く、表面には出さぬが頭の中での想像が盛んで、更らにこの度が進んで來ると注意の集中が出來ず、整頓癖強く着物や持ち物に對して見榮を示し、寢小便をし、指をしやぶり、瓜を嚙み、また一寸變つたものを食べても吐いて了ふといつた風で、これらのものが表面にまで表はれず潜在してゐるので周圍の人からも氣付かれずに居り、これが

初入學を契機として大きな刺戟を受け、病的症狀として現はれて來るのです。これが昂進すると大人でいふ所謂變質者となり、世を害する犯罪者とまでなります。學校の成績も始めはいゝのですが、だんだん惡くなつて醫者に依り扁桃腺やアデノイドのせいだらう云はれ治療しても一向によくなりませんかやうに神經質の子供の將來は眞に暗澹たるものですが、父兄や先生たちは十分に注意して、發見と同時に特別の心得ある專門家に指導を受ける樣心掛くべきでせう。

餘分なもの、うつくしさ

黑子・そばかす・後れ毛等

美しくありたいとは世の女性の總てが願ふ所でありませうが生れ付の顏形はどんなにいやでもやたらに取かへるわけには行きません、そんな方々はいたずらに缺點をお嘆きになるより、むしろその部分を念入にメーク・アップなさつては如何? 却つて素晴らしい逆效果をあげることさへ出來ます、では次にお顏の缺點や無駄の活かし方をお話しませう

(先)づお顏で一番無駄みたいなのはあのほくろです、併しこれも考へ樣によつては愛嬌をつけるため人工的にビューティ・スポットなんてものを貼りつける位ですからまんざらでもありません、殊に長い顏の方などは目の邊に一つくつきり浮んだほくろによつて見る人に長さの錯覺を與へますから至極結構なものです、すつりお化粧がすんでから眉墨で上から描くとよいのです丸顏の場合は口許に近くほくろは目立たせますと長い感じになります、皮膚の綺麗な人のほくろはつんとなり勝ちな親しみにくい顏を緩和します

(次)にそばかす、これはほくろと違つて目立つのは困りますが、かくすために白粉を白く濃くつけるなどは時代錯誤です、洋裝の人は猶以ての外でせう、これはそばかすの色に近い濃い色の白粉をつけて御覽なさい、これが保護色となつてそばかすを目立たせず併せて明朗な健康色化粧が出來るわけです

(生)え際のおくれ毛もさう無駄扱ひになさらないで下さい これを利用してカールを作つたり、前髪を薄くたらしたりすれば、廣いおでこもかくせますし、額に纎のおありの方などいゝカムフラージュになりませう

(眉)は三ヶ月型といふのが理想的でせうが、近頃はむしろ自然のまゝの方が流行してゐます、特別に濃い方は少し剃り込むのも結構ですが、お顏立ちによつてははつきりした眉を作らない方がよい場合もあります、つまりお顏の造作が割にぼんやりしたやうな方は、上の方だけ綺麗に剃つてまぶたの方は、そのまゝほやほやと生やしておくのです、眉と目の間が廣い方にも効果的です

(顏)の割に鼻が大きい方や低くて丸い方は、目頭の脇から小鼻の邊まで鼻の兩脇にアイシャドオを薄く引くか、その部分だけダークな白粉をつけます、額、鼻筋、口の廻りには白つぽい白粉をつけると、鼻がつんと通つて見えます、こんな方に頬紅をアクセントの強いものにするのもよい方法です

(唇)の厚すぎる方は薄い小さい口の人に比べて、かなりいろいろな形に作ることが出來るといふ長所がありませう、こんな風にして考へれば、決して缺點などゝいふものはなくなる筈です、自分の顏を活かした個性的なお化粧法を研究することが何よりも大切なのではないでせうか?

出來損ひの御飯

かうして直しませう

「三度たく飯さへこわし、やわらかし、思ふまゝにはならぬ世の中」といふ道歌がありますが、いつも美味しく御飯を炊くことは仲々むづかしいことで、一寸油斷をしたゝめ片煮えになつたり、やわらかすぎてお粥の樣になつたりすることがありますが、そんな時には出來るだけ美味しく直すことも主婦の大事な常識でせう。

もしうつかり水加減を誤るとか、湯をふきこぼして芯のある生煮えのご飯が出來た場合には、御飯一升分に對してお酒を杯に一杯か二杯ふりかけて蓋をしめ、しばらくとろ火で蒸すと直ります。

反對にやわらか目に炊けたと思つた時は、すぐ釜の蓋を取つて擂鉢を倒にして冠せること、水蒸氣になつて擂鉢の内側から外へ流水出しますので、自然御飯が美味しくなります。

また御飯を焦げくさしくした時には、手早く木炭の一塊を洗つて御飯の上にのせ、蓋をしてそのまゝむすと、木炭が臭味を吸ひ取つてくれますので焦げくさいのは直ります。

生理の不思議

初乳はこんな働きをする ▽特殊成分を含有

初乳は分娩少し前から、出産一週間後あたりまでに分泌するお乳のことをいふのです、がこの初乳を普通のいはゆる成熟した乳と比較した場合、この中にはお乳の一般成分である鐵、銅は勿論、球素といつたやうな特殊なものをも多量に含んでゐます、即ち鐵分では百立方センチの中に成熟乳には〇、一二六ミリグラムしかありませんが、初乳中には〇、三一六を含んでゐます なぜ初乳に

鐵分 が多いかと云へばこれによつて出産直後の鐵饑饉を防ぐ必要からで、これから見ても離乳期前後のこどもに對してまづ考ふべきことは鐵分の補給と云ふことです、それには小牛の肝臓とほうれん草などがよろしい譯です、さういふものゝ中には鐵分のみならずヘモクロビンの合成に一つの材料であるピロール核なども含有してあるからです、銅も鐵分と同じやうに初乳中には含有量が多い、その量は一リットル中に成熟乳には〇、〇四ミリグラムしかありませんが、初乳には〇、五九ミリグラムと云ふやうに殆んど十五倍に近い量を含んでゐます これはピロール核のやうにヘモクロビンの材料ではなく、合成の世話役をするものとされてゐます

つぎには球素ですが、これは蛋白質の一種でこどもの血液を見ると大人に比較し割合と少い、それが乳汁に澤山あるのです、そこでこの球素はどういふ役目をするかといふと母體にある免疫體を球素は運ぶのが役目とされてゐます。たとへばヂフテリヤの抗毒素などがその一例です。また動物實驗によると赤痢やチフス等の免疫體も乳汁を通じて移行し、病氣に對する抵抗力を持たせるものと考へられてゐます、さういつたわけで、初乳には大切な成分が大變多い昔はこれを捨てゝゐた場合があるが、今日ではさういふ愚かなことをするものがなくなりました、これは當然の事です、初乳中の諸成分が豐富だといふことは、たゞ人乳ばかりでなく動物に於ても同樣です、例へば

牛乳 ですが、これも非常にさういつた成分が多く含まれてゐます、しかし現在のところでは牛の初乳は法律で販賣を禁じてゐます、それはこどもが下痢をするためですが、或る人がこれを雛に食させたところ、産卵數が俄然增加したと云ふ實驗成績を出してゐます、斯樣に初乳は成分に見ても大變貴重なものであることが分ります、そしてこれはこどもが胎内にある時は母の血液により、生れてからは母乳により、榮養を供給されるその中間がこの初乳であるといふ點から考へてもこれはそれとうなづかれる次第です

けふの番組

(MTCY 新京放送局) 廿六日(日曜日)

※朝※

七、〇〇(大連)ラヂオ體操、入港船のお知らせ
七、二〇ニュース
七、五〇(大連)朝の音樂(レコード)
一、ヴアイオリンとピアノ 大幻想曲ハ長調 シューベルト作曲
二、アレグレット レーガー作曲 ヴアイオリン アドルフ・ブッシュ ピアノ ルドルフ・セルキン
八、二〇 氣象通報
九、三〇(東京)子供の時間 管絃樂(解説付) 日本放送交響樂團 指揮 坂西輝信
一、交響曲第六番ト長調第二樂章 ハイドン作曲
二、組曲「鳥」レスピーギ作曲 (イ)序曲 (ロ)鳩 (ハ)牝鷄 (ニ)夜鶯 (ホ)郭公鳥
一〇、〇〇(大阪)日曜勤行=新義眞言宗豐山派總本山長谷寺より中繼= 導師管長 杉本亮譽
一〇、四〇(東京)週間を顧みて(錄音)
一一、一〇(奉天)支那叢談 支那家畜史 中野誠一
一一、五〇(東京)經濟市況
一一、五九(東京)時報

※晝※

〇、〇一レコード
一、輕音樂 ドイツ流行歌集
二、マンドリン合奏 (イ)スペインのセレナーデ (ロ)愉快な鍛冶屋
三、輕音樂 (イ)滿洲娘 (ロ)モンマルトの夢 (ハ)パリの思ひ出
〇、三〇(東・新)ニュース
一、〇〇(東京)海と空の子供大會=九段軍人會館より中繼=
一、お話 海國の少年少女に望む 海軍少將 日暮豐年
二、童謠航空日本 晉羽幼稚園兒 晉羽ゆりかご會
三、獨唱と齊唱 (イ)獨唱少年航空兵 (ロ)齊唱と獨唱征けよ艦隊 (ハ)兵隊さんの汽車 (ニ)傷兵さんありがたう (ホ)軍艦旗の歌
四、齊唱南京陷落を祝ふ歌 帝都教育會保母傳習所有志
五、軍樂演奏 伴奏 海軍々樂隊 (イ)軍艦マーチ、外 海軍々樂隊
二、〇〇(東京)女流演藝の午後
長唄 吾妻八景 杵屋勘次、外 三味線 杵屋正次、外
清元 青海波 淨瑠璃 清元延千嘉、外 三味線 清元延千八、外
常磐津 今樣夜討曾我 淨瑠璃 常磐津伸巳佐、外 三味線 常磐津仲菊、外
四、〇〇(東京)ニュース 氣象通報、ニュース

※夜※

六、〇〇(大阪)子供の時間 連續童話劇 日本人オイン(終) 大佛次郎原作 堀正旗脚色 BKコドモ會
六、二五 音樂鑑賞(レコード) 交響組曲「シエエラザード」リムスキコルサコフ作曲 一、海とシンドバッドの船 二、カレンダー王子の物語 フイリップ、コオベル指揮 巴里音樂院管絃團
七、〇〇(東京)ニュース、告知事項、今晩の番組
東西寄席中繼
七、三〇(東京)=人形町末廣亭より= 落語
一、長屋の花見 春風亭柳橋
二、意地くらべ 三笑亭可樂
三、稽古や 林家正藏
八、三五(大阪)=南地花月より= 漫才
一、總領の甚六 秋山右樂 秋山左樂
二、 林田五郎 柳家雪江
三、不擴大方針 松鶴家光晴 浮世亭夢若
九、三九(東京)時報、ニュース 氣象通報、ニュース、告知事項、明日の番組
一〇、三〇 今日のニュース
一〇、四〇(哈爾濱)北滿の時間
アナウンサー 荒井(朝) 上森(晝) 田中(夜)

出生

△昂溪胡同一ノ一 箇井清彦二女すみ(十二月二十八日)
△南湖第五代用官舍一二〇號 後藤丈夫長女寛子(十二月二十九日)
△金輝路第三代用官舍三一九 松岡正夫長男雅康(十二月三十日)
△高砂町四丁目二番地 坂田三樹夫、邦子(十二月三十日)
△英國醫院胡同十九號 村市一郎四男賢太郎(一月一日)
△西七馬路八號 川島峰太郎三女滿子(一月一日)
△英國醫院胡同五十四號 荒木行光長女和子(一月一日)
△寛城子頭道街二九番地 丸山省三長女浩美(一月一日)
△清明胡同二〇五 畝川元夫三女弘子(一月一日)
△通化胡同五〇五號 岡崎日本雄長男廣居(一月一日)
△長春大街北胡同一二六 小澤博、智子(一月一日)
△大經路丸三アパート十五號 下迫智長男文哉(一月一日)
△大經路八三丸三ビル十八號 前島誠市長男聖信(一月一日)
△英國醫院胡同三六號 松下勇七、祐幸(一月一日)
△軍用路住田街一丁目一號 福澤五郎二男元(一月一日)
△義和路電々社宅九號ノ二 指方忠次二男次雄(一月一日)
△清和街二〇二 神戸清七長男幹雄(一月一日)
△東七馬路市營住宅一〇六號 石崎好、進(一月一日)
△興安胡同四〇五號 小林道三二男正夫(一月一日)
△昂溪路一〇二 第五代用官舍三二號 溝下征三女映子(一月一日)
△東高台路北胡同滿航社宅 奥山久藏長男久志(一月一日)
△神泉路五〇二號一〇ノ一 松田最三長男洪志(一月一日)

講談社の繪本 (最近刊四册)

◇講談社の繪本、最近號は「菅原道眞」「花づくし」「漫書と出征美談」「タノシイ一年生」の四册、各五十錢である

◇「菅原道眞」は荻生天泉畫伯の筆、特別讀物として支那事變軍馬軍犬物語が附いてゐる「花づくし」は子供の知識として色彩にも形狀にも正確を期した跡歴然たるものあり、畫家も夫々花鳥の大家を動員して堂々たる内容を作つてゐる

◇「漫畫と出征美談」には漫畫の面白いものを集成した上に出征美談特輯で全卷を引締めてゐるが、畫家も努力一杯仲々よいところを見せてゐる

◇「タノシイ一年生」―全片假名の新一年生諸君への奉仕版、繪を利用して文學を覺えるやうに工夫したページなど見るべきものがある附錄として一年生を學校に送り出す親達、幼稚園長、其他教育關係者の一言を載せてゐるのも意義深い、タノシイ一年生を親達にも樂しませる工夫は充分多としたい

創作
或る環境 (二)
高　磯　光

(カット……中野政行畫)

河野はかうした環境の中にあつて自分ひとりおつとしてゐる事も出來なかつたし、又一定の單調な職につくとだん〳〵不平も出て來て、叔父の監督の眼をのがれて、あちこち昔の放縱性を發揮し始めた。丁度その頃同じ役所に三宅敏雄と云ふ同年輩の北海道生れの男がゐた。三宅も事變直後渡滿熱にうかされて遙々新京の叔父を頼つてやつて來たのだつたが、日本の生活に馴れ切つてゐる彼はこの地の殺風景さや娛樂機關のないのに惱んでゐた。また叔父以外に誰ひとりの知人もない寂寞さによくふら〳〵ネオン街を歩き廻つてゐた。たま〳〵河野と親しく話をするやうになつて二人は毎夜のやうにKホールへ遊びに行つた。或る晩河野はホールで三宅と別れ、矢鱈に喉が渇いたので毎夕通ひつけのT食堂に十時頃立寄つた。何時もならこゝのばあさんが出てくるのだが「水を一杯お願ひします」と云つても仲々出てこないので待ちかねて台所を覗きかけると、意外な若い女が出て來て「今日からわたしこゝで働らかしてもらふ事になりました。松本照子と云ふものです、どうぞよろしく。」とにこ〳〵愛嬌よい笑ひを顔に浮べて自己紹介した。河野は意外な時に意外な人の出現に驚いたが、そのはぎれのいゝ言葉、落ちついた態度、しかもその落付の中に十七、八才の若さを十分に秘めてゐる、ぱつちりした眼と口もとから、なんとも言へない心の衝動を感じた。ふしだらな過去を持つた河野もその瞬間自分の持つてゐるすべての愛情をあたへても悔ない感情のどよめきを感じた。

その日は唯、水一杯もらつたゞけで何も云はず下宿に歸つたが初對面だつた照子の顔がはつきりと眼先に浮んでゐた。

次の日この事を三宅に話さうかと思つたが何かおしいものを失ふやうな氣がして何も云はずに早く歸つてT食堂に例の如く夕食を攝りに行つた。未だ早いのでこゝの常客連は一人も見えなかつた。照子は片隅でレコードを聞き乍ら新聞に眼を向けてゐた。河野はどちらかと云へば、無口な一見陰性に見えるが女好きのする顔をして居つたので戸を開けるや否や「あーらいらつしやいませ」と昨夜と變りないはつきりした言葉だつた。如何にも馴れ切つた人に語るセリフにすつかり氣をよくした河野はにつこり笑つて、相手の顔を見た。默つて居つても照子は機轉をきかして夕食を運んで來た。河野はその夜それから何處へ行く當もなかつたので「ビールを持つて來てくれ」と、頼んだ。他に客がゐないのを幸ひ河野の傍に來て腰を下し器用な手つきでビールの口を取ると「いかゞです」と、何か言ひさ出らと考へてゐる河野の顔を覗き込んでゐた。思はず二人の視線が合つたが河野は默つてそしらぬ顔をし乍らも心の奥では小さい神經を絶えず照子の方に向けながら一杯ぐーつと飲み乾した。河野は餘りいける方ではなかつたが無理して三杯たてつゞけに飲むと、すき腹にこたへたか腹の中がぐうつとなつて俄かに身體が熱くなつて來た。何時の間にか輕い醉が廻つて氣輕になつて來た平常默つてゐる河野は飲むとつて變つて陽氣になるのが習慣だつた。

昨日のKホールで踊つた音樂が頭に浮んで來たので「照ちやん濟まないが何かレコードかけてくれないか」と頼むと照子はあゝぼんやりしてゐて濟みませんと云ふやうな表情して片隅の方にある電氣蓄音器のところへ行き流行歌をかけた。河野は食事を攝るのも忘れて口笛ふきながら足でステップ踏むまねをした。かうして二人は云はず語らずの中に親しくなつて行き河野は樂しみをもつて役所から歸れるやうになつた。それ以來河野は夕食以外に酒を飲んだりレコード等かけさせてみたり不必要に永びくやうになつた。

その年も暮れかけようとするあはたゞしい二十四日のクリスマスの晩例の如く酒に顔を赤らめて陽氣にレコードに合せて鼻唄を唄つてゐた河野の近くに來て照子は「あの、あなたダンスをやるんだつてね」何處から聞いて來たのか突然こんなことを河野に切り出した。

敗戰支那の記錄
上海の一年 (2)
邵　洵　美
大内隆雄譯

私は十數年來たゞ出版事業を經營して來た、印刷所を一つ持つてゐる、五年前からは毎日破産の脅威を感じて來たこの小さな經驗が、感服がいかにして追求に變ずるか、讃美がいかにして嘲笑に變ずるかを私に明白ならしめた。一人の友人が極めて叮嚀親切な口吻で、私の出版には何の目的もないと責めたことがあつた。私は出版が即ち私の目的なのだと答へた、彼は依然頭を振つて私のつまらなさを笑つた。彼は恰も雜誌をやるには一の政治的野心がなくてはならんといふかの如くであつた。私は英國のノースクリフ卿がデーリメールや何かで數百萬の讀者を得た歴史を話してやつた、これ以來その友人は私とは難しい問題は話さないやうになつた。私が彼を訪ねて行くと彼は飯を食つて行けと言つた、彼がやつて來ると私はやはり彼を飯館に誘ふのだつた。

この友人は愛國家であり實行家である。彼は黨規に服從し領袖を信ずる。彼には學問はないが口はうまい、彼は貪慾でない、しかし生活條件は圓滿である。彼は忠臣義士の典型的人物である、朝にあれば好き官であり、野にあれば好き友である。蘆溝橋事件に私の熱血は衝動を感じた、直ちに彼に手紙を書いてやつたそれにはひとへに國のために奔走したい、又絶對に利益のためではないと書いてやつたことも察していたゞかう、ところで彼はつひに返事を吳れなかつた、これが私が自分に對してがつかりした第一の事だつた。

今次戰爭の發生は、私は蔣委員長の廬山の第二次談話會の講演を讀んで確定的だとしてゐた。この講演で彼は「最後の關頭」の到來を說き當局の決心を暗示してゐる。蘆溝橋事件以前に私は「西安半月記讀后感」といふ一冊の本を出さうと用意してゐた、蔣、張二人の人格行爲に對して詳細に分析し私は「蔣委員長の偉大な點は彼の言必ず信あり行へば必ず果ありにある、即ち言つたことは行ふのである」としたために彼が「蘆溝橋事件の擴大は中國全國家に關する問題である、これが收まるか否かゞ最後の關頭の境界である」と言つてゐることから我々はすでに「最後まで犧牲となり、最後まで抗戰する」準備をしてゐることを知つた最近蔣委員長は外國記者に對する談話において自分で「私はこれまでゞたらめは言はなかつた」と言つてゐる、それ故私は彼の言つた「最後の勝利は遠からざるを期す」にも絶對的に信じてゐた。

私は當時あの友人の返事に接しなかつた、心中辛かつたしかし人が私に力を協せないのなら私は一人で自分で出來ることをやる外はない、私は印刷所を持ち出版部を持つてゐる。私の印刷所は楊樹浦にあつた、住宅も楊樹浦にあつた、ところで戰爭は必ず起るのだ、然らば楊樹浦は必ず危險區域になる、急いで引越さねばならぬ。

この時、私はもう出版經營の力がなかつた、印刷所からの利益がやつとみんなの生活費になるのみだつた、工場には少しも預金はなく、自分も貯蓄はない、引越しには相當金が要る、どうしたらいゝのか？

私は奥地に一つの店を持つてゐる、毎年相當の利益がある、しかし或る種の禮教關係から、私はこの財産を繼承して以來當然私が得べき權利を享受してゐない。人はこの事で私を批評してあまりに感情を重んずると言ふ、そしてそれでは悲慘な結果にならうと言ふ、しかし私の性格を了解した人は、私が舊道德と虛榮に深い毒を受けてゐることを知つてゐる、それを誰も救ふことは出來ぬ。それ故私は自分が貧乏して月一分八厘の借金をせずにゐられなくても一方には毎年千や萬になる利益を放棄してゐたのである。私がこのために責められ誤解されたことは數へ切れぬくらゐである、私の半世の生活が終始難しい軌道上にあつたのもこのために外ならない。一人の目上にはいゝことをしても、多くの目下には濟まないことをしてゐる、この複雜な家事はこゝに述べようとは思はない。しかし店の主人はつひに店の主人である、私は當時戰爭が直ちに始まると考へ印刷所と住宅を越さねばならぬと考へた、そこで考へはこの店の方に行つた、私は暫く上海を離れ得なかつた、八月七日になつてやつと北站へ行つた。車に乘ると私はすぐ相手になる一人の男がそこにゐるのを認めた。彼の行かうとする所は私と同じだつた。言ふまでもなく彼の考へてゐることも私と同じだつた。これは天意だつた。それに彼の表情を見、彼の聲を聞いては私は彼の方が私よりも萬倍も困難してゐると思つた。目的地に着くとそこで彼の用事を濟ましてやつた、そして私が私の要求を責任者に向つて言ひ出した時、彼等はふるへ聲で言つたのだつた。「御主人、商賣を殺すやうなことをしてはいけません」

バクゲキ欄　現代詩の見本
—『鵲』二十六號を評す—

松畑優人の二つの作「りつぷくの日」「いけねえ日」は仲々輕妙なところを採る。リズムのある物語民謡といつたところである。「出靈砲台」になると事變つたインテリ臭が強い。「炎の歌」もさう。「早春の歌」は平板だが親しみが持てる。

小池亮夫「末裔」も技巧が勝つてゐる。瀧口武士の諸作はこの人の一つの轉期を示さうとしてゐる。單純な、健康さ、への方向である。

宮下秀雄の二作いたゞき難い。「花和尚魯智深」は些かふざけ過ぎてゐると思ふ。

井上麟二の「指」はいゝ。題材の强味であらう。「林」になると些かわざと晦澁がつてゐる傾きがある。「數」も堅い。

八木橋雄次郎「破片」は彼の精力家振りを示してはゐるが些か型にはまりこんでゐるやうである。三好弘光「青年の歌」は西原茂「コラアジュ」とゝもに一種の形式主義の弊害をティピカルに示すもの。詩人の仲間以外には通用し難い。

以上はお粗末な印象感だが、兎も角も贅澤な組み方にせよ六十四頁の一册、これを井上麟二の詩を眞似て言はうなら、どうやら「遊戲の文字を並べてそれが詩のレッテルを貼られ雜誌を賑はして世間に送り出される」といつた貌がないでもないやうだ。詩とはそんなものか、詩人とは？

(御垣衛士)

元旦の言葉
河野義男

元旦の朝日は神代の光だ
元旦の家は明るく笑ッてゐる
元旦の凧上げはA線の音だ
元旦の子供は泣かない

×　×

元旦の月は日の丸の國旗だ
元旦の街は注連縄の祭だ
元旦の手紙は年賀狀ばかりだ
元旦の乙女は見合の寫眞を撮る

×　×

元旦の星座は雛人形のやうだ
元旦の奉天は銀色の舞台だ
元旦の放送はジャズを忘れてゐる
元旦の郵便集配人は忙しい

師走

紫色の夕暮が近づき
東の空に
黄金色の雲が流れ
海のない港の
銀色の街にも
師走の氣分が漂ふ
さむい冷たい風が
大陸の波止場に
靜かに吹く
雪とネオンの
多の夜景色を
眺める眸には
名殘りを惜しむ
十九の春と
新しく迎へる年の
何ものかを描いてゐる

夜の口笛

誰が唄ふか
戀のうた
夜更の街に
口笛ふいて
足音みだれた
二人連れ
草履の音と
靴のおと
口笛の音に泣く
草履の女
うるむ眸を
かくしつゝ
歩む男の
その口笛は
低くかすかに
ふるへてる

書架

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し(係)

△財界春秋(二月號)(東京市麴町區九段三ノ一九、財界春秋社、五十錢)
△正金週報(十號)
「ベルプの話」その他(橫濱正金銀行調査課)

國産優良商品推奬

春の球座開幕近し

電業、電々陣容競つて 新人迎へ張切る リーグ戰五月末開始

戸外スポーツの季として大衆の熱望して待つ球界も愈よシーズン[illegible]

[illegible] 丹節壽(二壘、松山高商)鷲中村武(二壘、靜岡商)川野萬之助(遊、專修大)金村島幸作(外、靜岡商)善雄(外、下關商)君等の入社はほゞ確實と見られこれに挑む意氣の新京倶樂部、滿洲國軍の展開するであらう熱戰は早くも多大の期待がかけられファンの血を湧かしてゐる

溌剌、新京倶樂部 早くもけふ練習開始

國際球界の王座を狙ふ新京倶樂部は内地直輸入の新進强豪を陣頭に立て二十六日より練習を開始、春のリーグ戰に臨むことになつた [illegible] 外野手△三上豐治(同)投手△山崎治(京阪商業)外野手△加藤義男(岐阜商業)三壘手△中田利男(富山商業)外野手△岡富士男(松山高商)遊撃手△金子(横濱高商)投手△川井眞一(濱松商業)外野手

松岡前總裁 皇帝陛下に親見

大村、松岡新舊滿鐵總裁は新任、離任挨拶のため打揃つて廿六日來京、松岡前總裁は廿七日午前帝宮に參入、皇帝陛下に親見仰付けられ、御挨拶を言上することゝなつたが、皇帝陛下には松岡前總裁が在任中滿洲國の發展に盡力した功績を嘉せられ、同日正午に午餐の御陪食を賜る由に拜承す

リーグ戰日割

待望の本年度新京球界リーグ戰の日割は左の如くである △五月廿八日[illegible] △六月一日新京倶―電業―[illegible] △三日電業―滿洲國、新京倶―電々 △四日新京倶―電々 △五日電業―滿洲國 △六日新京倶―電々、新京倶―滿洲國 △十日電業―電々 △十一日新京倶―滿洲國、電業―電々 △十二日電業―電々 △十三日新京倶―滿洲國

建國廟工事進捗

滿洲國の鎭として建國の偉業に殉職した日滿文武官の靈を祀る建國廟の御造營工事は新京大同大街南端南嶺の聖域十一萬坪に康德三年起工以來三ヶ年の歳月と總工費百四十萬圓を以つて三田組並に全滿國民の勤勞奉仕によつて着々進捗し現在十分通り完成した同廟を拜觀すると建築樣式は國民崇敬の的たらしむべく東洋風を基調としたもので、構造は凡て鐵筋コンクリート造り外部は花崗石貼、屋根は瑠璃瓦葺、軒廻りに彩色を施し、内部は大理石が用ひられた莊重雄大な建築で本年秋には完成の豫定である【寫眞は七分通り完成した建國廟と靈殿】

關取のサラリー 協會が公表

【大阪國通】去る八日から十三日間大阪で擧行された第五回大相撲大阪場所は未曾有の盛況裡に目出度く千秋樂をつげたが、さて俗に給金直しといはれるこの大阪場所でお相撲さんのサラリーはどれだけ上つたか?從來兎角この點がぼんやりしてゐた角道内幕を協會が角界明朗のため廿五日初記錄破りの發表をした、元來昇給制度は幕内、幕下區別なく勝越星一に金廿五錢あがりで大阪場所では六百力士に對し百卅八圓廿五錢の昇給が行はれた譯だが、十三日間勝放しの横綱双葉山は三圓廿五錢の昇給となり、これ以外勝星一つに幕内十圓、十兩五圓、幕下二圓五十錢の副賞金と廿五圓の奬勵金がつけられるため、双葉山は結局二百圓で四月から二百三圓廿五錢となると共に大阪場所では勝星副賞と奬勵金が重つて三月分取高は計六百四十五圓餘、おまけに横綱としての交際費五千圓を下らぬ收入も伴ひ將にお給金でも日下開山と云へやう、なほ十兩優勝松ノ里は十一勝二敗だから勝星九つで二圓廿五錢昇給、副賞奬勵金とも合計二百七十圓を本俸以外に協會から貰ふ勘定となつてゐる

義勇隊の鄕愁慰める 待望の大陸の母 來月二日愈よ着京

若き義勇隊員の鄕愁を慰め、良き母たるべき靑少年義勇隊配屬の寮母は昨年秋應募者數百名中より第一回分四十名を嚴選、聖和學園において九十日間の訓練を受け、引續き内原日本國民高等學校女子部において約一ヶ月「大陸の母」たるべき訓練を受けつゝあつたが、何れも近く卒業するので第一回渡滿寮母部隊廿六名は來る四月二日のぞみで着京直ちにそれ〲配屬せらるべき現地各訓練所に向ふことゝなつた

斜合に乘り出すことゝなり代表廿名は來る四月十二日宇都宮出發、裏日本航路を經て千振、彌榮、林口、永安屯、哈達河、哈爾濱訓練所、旅順を視察、五月三日宇都宮歸着の豫定なる旨滿拓公社に斡旋方依賴があつた

旅順特別訓練所 本月末閉鎖

虚弱靑少年義勇隊員のために

宇都宮から 花嫁が來滿視察

若き日本女性の大陸花嫁志願熱を裏書して栃木縣女子靑年聯合團では滿洲開拓地視察團を組織して歸國後は縣下女性に呼びかけ、大陸建設の同志

春植える草花の 種子を頒ちます 新京園藝協會で斡旋

日增しに暖かくなり、若芽香る本格的な春も愈よ近寄つて來たので昨年新京市民の情操敎育、綠化の相談所として誕生した特別市公署内新京園藝協會でも本格的活動を開始することゝなり、手始めとして本年試みに春植球根、種子の斡旋をなす事となつた、球根種子の種類は全部で百餘種取揃へてゐるが、希望者は本月三十日迄同協會宛申込まれたいと

なほ草花、蔬菜種子は一袋七錢、ダリヤ球根一球二十錢、グラヂオラス十球二十五錢、カンナ一球十五錢、ダリヤ、ボンボン咲一球十錢といふ安價でわけることゝなつてゐる

强豪の參加相踵ぐ 第三回全新京武道大會 申込あす迄延期

全新京の武道修練の士が各々所屬官廳、會社、學校の名譽を荷負つて堂々覇を爭ふ晴れの本社主催第三回全新京武道大會は時局柄尚武の士氣いよ〱旺んに續々名乘りをあげ申込締切豫定は二十五日迄には

滿洲電々、滿洲興業銀行、滿洲中央銀行、關東軍倉庫、專賣總局、首都警察廳、靑年學校、滿鐵、日滿商事、水力電氣建設局、地籍整理局職員養成所、白雪會、新京商業學校、總務廳、關東憲兵敎習隊、滿洲採金會社、極光會、滿洲電業、内務局、新京中學校

と既に三十六組の多數に上つてゐるが、特にメンバー編成の都合で延期希望する所も可成りあるので、この際一組でも多く相會し日頃鍛錬の程を試練する好機を廣くわかつ意味で申込み締切りを二十七日夕刻までに延期した、優勝の勝名乘りは果して何處が揚げるか、劍道、柔道、弓道それ〲本社の優勝旗、滿洲帝國武道會新京支部長の優勝盃、優勝團體、個人優勝盃並に井上刀劍店寄贈の優勝刀以下拔群の譽をたゝへる個人優勝賞の榮冠は誰の手に獲得されるか、未曾有の熱戰が豫想されてゐる

新京聾唖學院 開院式擧行

滿赤の經營に移つた新京聾唖學院の開院式は、廿五日午後二時から關東軍々醫部長、民生部大臣代理、張社會局長並に前私立學院當時の關係者、赤十字社役員等多數來賓參列して開式、國旗禮拜、經過報告、工藤理事長の式辭、孫民生部大臣の祝辭、ついで田代學院長の挨拶に對して初等部二年生葛明德さんが生徒代表として答辭を述べ各地からの祝電を朗讀して閉式、來賓一同で授業參觀の後祝宴を行ひ午後四時盛會裡に散會した

特に昨多設營した旅順特別訓練所は設立當時、時宜を得たるものとして頗る好評を得てゐたが、其後入所訓練生も殆んど回復したのと今後永續的に設置する要を認めなくなつたので今三月末をもつて一時閉鎖することゝなり、現在入所中の訓練生はそれ〲近く原隊に復歸することゝなつた

遭難者中五氏の 死體引揚ぐ

中華航空ロツクヒード機遭難個所は既報の如く小平島西方二キロ火石嶺柵の名の示す如く數十米の斷崖を隔てた六十米の海中で廿五日午前八時旅順を出發した十五噸起重機が十一時廿分現場到着、直ちに引揚作業を開始、幾多の困難の作業の後午後四時漸く機體の引揚げは終つたが胴體前半がもぎ取られて死體は一つも浮上らない、斷崖に起重機のロープを捲付けた作業員が火石嶺柵突端の稜角で機體の銀色塗料を發見したので引揚前より斷崖に接觸したこと判明引續き潜水夫により死體收容に懸命の努力を續けた結果午後五時二十分に至り先づ乘客加藤正男氏の死體を引揚げたのをはじめ六時十五分迄の間に乘客景山信吾、操縱士高橋隆、小島通信士、乘客松本勝治の諸氏の順で引揚げられ殘餘の死體引揚げ作業は日沒となつたゝめ六時四十分に至り中止し廿六日續行される、なほ前記五氏の死體は奉天丸に收容の上大連港に廻航され市内常安寺に安置、遺族、近親その他關係者によつてしめやかにお通夜が行はれた

首警警民懇談會

首都警察廳管下の第三回警民懇談會は左の如く各署別に廿五日一齊に行はれた

△中央通署(午後五時記念公會堂)△四道街署(同二時國民優級學校)△長通路署(同鐵道工場會議室)△和順署(同一時軍盛路小學校)△寛城子署(同二時寛城區事務所)△順天署(同六時宴賓樓)

當日の六會場はいづれも前回に增す熱心さで民衆側から協和會分會代表が多數出席、警察側より資源調査の趣旨徹底を期する協力を要望、更に質疑應答、淸掃週間並に種痘施行に對する協力を要望、更に質疑應答の後民衆側から住宅及び家賃問題に關して當局の意向を訊すなど隔意ない意見の交換を行つて好成績裡に散會した

迷ひ犬一頭

廿三日午後大同大街康德會館内滿洲拓殖委員會内に高價なドーベルマン犬一頭が迷ひ込んで來た飼主が不明なので同會で飼養中である、心當りの方は至急屆出られたいと

松岡前總裁迎へ 社員の歡送

松岡、大村新舊滿鐵總裁は二十六日午後五時二十分のあじあで來京するが、新京支社各箇所では二十五日所屬長會議を開き歡送迎行事を左の如く決定した、即ち二十六日午後五時までに在京三千社員は各社員會旗を先頭に驛頭に整列新舊總裁を歡迎、廿七日は午後四時在京各箇所長、所屬長參事及び吉林鐵道局代表が理事公館に集合、總裁を中心に記念撮影を行ひ、午後四時卅分より西廣場倶樂部に於て歡送迎會を擧行、松岡前總裁、大村總裁の挨拶があり社員を代表して平島支社長答辭を述べブラスバンドの指導にて社歌を合唱して閉式、廿八日は全社員午後五時までに驛頭に整列ブラスバンド指導にて社歌合唱、發車一分前には螢の光を吹奏、古山次長の發聲にて萬歲三唱、前總裁を歡送する筈である、なほ新舊總裁は二十六日着京直ちに新京神社、忠靈塔を正式參拜のうち理事公館に入る豫定である

敷島高女生の 恤兵獻金

敷島高女の自治會代表平山智子さんは廿四日關東軍副官部を訪れ恤兵金として金八十二圓卅五錢を寄贈した、このお金は昨年の一學期より三學期末迄の一ヶ年間自治會全員が時局に鑑みお互に馬車賃、人力車賃、豆タク代、お晝のパン代、小遣などを節約したもので當局を感激せしめてゐる

藤田氏滿取相手 に株券返還提訴

滿取事件を繞る藤田、牛田兩氏の背任刑事々件は曩に奉天警察廳司法科の取調一段落と共に事件は奉天司法檢察局に移牒、目下審理中であるが、同事件の中心問題たる南滿倉庫株二千八百株所有權確認に關し藤田九一郎氏は廿四日江崎辯護士を代理人として滿洲取引所を相手取南滿倉庫株三千株の返還(滿取は一萬七千七十圓九錢を受取り南滿倉庫株二千九百株を引渡すべし)請求訴訟を奉天地方法院に提訴、玆に滿取事件は兩者それ〲の提訴にまで發展成行きは非常に注目されてゐる

松井滿州醫 大學長辭任

滿洲醫大學長松井太郎氏は今回學長を辭任、敎授として留校することゝなつたので、後任として大連病院長守中淸氏が就任することゝなる模樣で近く正式發令される筈である、なほ守中院長の後任は現副院長村上純成氏が就任の筈

滿鐵副總裁秘書

佐藤副總裁秘書役は總局建設局庶務係主任西角兼利氏に決定一兩日中發令を見る筈

プロムナード

滿拓の坪上總裁は日本で役人生活をしてゐた時代から張り切り男で有名だつたが滿洲に來てから更に輪をかけた樣な元氣で機會ある每に必ず一席開拓國策論を滔々と述べたて、時には協和經濟などゝ云ふ新語が飛び出す程だ▼產業部に開拓總局が出來て滿拓改組論が傳へられてゐる今日總裁の元氣如何と打診して見ると「大體今日迄開拓國策の機關が整備されてゐなかつたから滿拓が何から何までやらされてゐたのだ、土地收用事業が政府の手に移つても今後滿拓の仕事は鋏狀にふへるばかりだ」と四月の東京會議を控へ意氣當るべからざるものがある▼ところでこの總裁の長男は目下應召して中支戰線にあり、次男は滿洲で國境近くの某地に入營中と聞けば總裁は正に親子三人大陸で働いてゐる譯で老總裁の張り切るのにも涙ぐましいものがあると專らの噂だ

天氣

けふの天氣 北西の風曇後晴
きのふの氣溫 最高 三度三 最低零下 九度三

第九期決算公告

康德五年(昭和十三年)十二月卅一日現在

貸借對照表

資產之部

科目	金額
株主勘定	三三、五〇〇、〇〇〇・〇〇
未拂込資本金	三三、五〇〇、〇〇〇・〇〇
固定資產	一五五、四四一、六三五・四八
發電所	五四、一五七、六一一・六六
變電所	一七、三六一、〇七〇・三九
送電線路	一八、六二九、八五三・一五
配電線路	三〇、四四〇、四一〇・二〇
屋内設備	一一、二三六、〇五一・八四
諸施設	一三、九一五、九五三・一八
建設工事	一三、七三〇、六八七・〇六
假勘定	[illegible]
投資	一〇、六四二、七二七・五〇
關係會社	[illegible]
有價證券	四、五八七、三八七・五〇
關係會社貸付金	六、〇五四、一四〇・〇〇
流動資產	一五、九〇九、九一八・九三
貯藏品	七、〇六八、五九六・五八
商品	五六七、三六〇・六六
未收金	四、七五三、二二七・三七
有價證券	二、五八五、八九三・六八
受取手形	一二、五八二・七七
差入保證金	一七、八二二・〇〇
預金	八〇九、九八五・七六
爲替勘定	六三、二九九・八八
現金	八〇、七三〇・二三
雜勘定	一〇、〇六〇、四二六・〇九
假拂金	九、六九四、六〇八・二九
社債差金	二二四、五〇〇・〇〇
受入證券	一五、七二四・五一
保證債務見返	一三五、五九三・四九
合計	二三四、五四三、三〇八・〇〇

負債之部

科目	金額
株主勘定	一六六、七八七、〇〇〇・〇〇
資本金	一六〇、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
法定積立金	二、五三〇、〇〇〇・〇〇
從業員退職給與積立金	七〇四、〇〇〇・〇〇
特別積立金	三、五五〇、〇〇〇・〇〇
長期負債	二四、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
社債	二四、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
短期負債	四六、八九〇、五〇一・七三
未拂金	六、八〇四、九六三・二四
短期借入金	三五、六七九、五八四・六〇
受入保證金	一、五〇二、八五二・一一
社員貯金	一、七〇六、一〇八・四七
社員身元保證金	三〇四、六九〇・一三
社員共濟勘定	七一、〇三五・一八
雜勘定	一、三二七、三四八・〇八
假受金	一、一三五、六五四・五九
差入證券	一五、〇〇〇・〇〇
保證債務	一三五、五九三・四九
利益	五、五五〇、七五八・一九
前期繰越金	七七六、九三八・三八
當期純利益	四、八一三、八一九・八一
合計	二三四、五四三、三〇八・〇〇

右之通候也

康德六年(昭和十四年)三月廿五日

新京特別市大同大街三〇一號

滿洲電業株式會社

社長 丁鑑修

副社長 山崎元幹

若殿膝栗毛 （禁上演上映）

中川雨之助　竹越一郎畫

隣の噺（三百一）

『まゝよ、旅の恥は掻き捨てだ。軍平の擒になつて居たことを思ふと、この方が、どれだけ安心か知れない。その中にはまた、浮ぶ瀬もあるであらう』

さういふ考へが、香鳥を力づけた。そこで彼女は一生懸命に稽古をした。伊勢路から尾張、三河と田舎を打ち廻つて來る中に、それでも熱心は恐ろしいもので、香鳥はもう女役者として舞台に出られるやうになつて居た。

その日、座長の龜代松が、樂屋入をしてから、香鳥が自分の鏡台前に座つて、しきりに序幕の出のこしらへに急いで居た。

析の音がチョンチョンと聞えて、入込みの笛、太鼓の音が舞台の方から、道具方の鐵砧の音と一緒に慌ただしくひびいて來た。

半分肌脱ぎとなつてセッセと顔を叩いてゐた香鳥の、白粉刷毛を持つてゐる手が、パッタリと止まつた。

壁一重となりの、座長龜代松の部屋から、洩れて來る話し聲を、アッと小耳に挟んだからであつた。

壁一重といつても、蓆一枚と、引幕の古いのを、ズッと曳き廻してゐるだけであつた話は、まるで手に取る如く聞えて來た。

龜代松に話しかけてゐるのは、頭取の金さんと呼ぶ江戸生れの男であつた。

『それがね、大きな聲ぢや言へねえんだが、切支丹の浪人の吟味なんですよ』

それは、金さんの聲であつた。

『なんだい、そんな話、つまらないぢやないか』と、龜代松は、一向に氣乗のしない調子であつた。

『でも、さう一概に、貶したもんぢやござせんや、この座もう狂言にはスッカリ行詰つて居るんだから、一つ切支丹の芝居でもやつてみたら、それこそ、時節柄、キット大當りを取るだらう、と思ふんですがね――』

『冗談ぢやない。いま、おまい、何とお言ひだつた、大きな聲で話しもできない切支丹の芝居なんか演つてごらん、それこそ、こつちの首が飛ぶぢやないか』

龜代松は、さすがに女であつた身をふるはせて言ふのであつた。

『しかし座長、物は取りやうですぜ、切支丹の芝居といつたつて、なにも切支丹の肩を持つわけぢやねえ、つまり切支丹は邪宗だ。こんな物を信心しちやいけねえつて事を、見物衆の得心の行くやうに面白く筋に仕組んでみせるんで、首どころか、反つてお上のおほめに預かり、ウイ奴くとかなんとかで、御褒美として、三寶に一ぱい小判が頂けるかも知れませんや。兎角物事は、乗るかそるか、といふ處までやつて見なければねえ――』

この話の起因は、金さんが今日岡崎の城下を見物して歩いてゐる中に、切支丹浪人召捕の高札を見て來て、それから思ひ付いての話だ、といふのであつた。

その話を聽いてゐる香鳥の胸へ先づ第一に浮んで來るのは軍平のことであつた。

『それお尋ね者の切支丹の浪人といふのは、一人なのかい、それをも大勢かい？』龜代松が訊いた。

『イエ、たつた一人でした』

『名前は？』

『サア……エヽと何と云つたつけなア……』

金さんは、度忘れしてしまつたらしい、香鳥は、いちばん肝腎のことを知らうとして耳を隣壁へクッつけるやうにした。